

事例No.	2324
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	岩手県盛岡市

事例区分	公共施設管理
------	--------

タグ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設等総合管理計画 ・ 公共施設活用 ・ 新たな政策手法の確立・活用
----	--

事例種類	公民連携
------	------

事例内容・タイトル

盛岡市の公共施設マネジメントの推進について

出典

令和4年度JFM地方財政セミナー

盛岡市の公共施設マネジメントの 推進について



世界一の太鼓パレード「さんさ踊り」
毎年8月1日～4日開催

盛岡市財政部資産経営課
主査 佐藤 潤



盛岡アセットマネジメントキャラクター
「石割りさくらこ」

盛岡市の現状

■大きい北東北

北東北…岩手・青森・秋田

- ・ 36,559.89K m² (3県面積)
- ・ 36,197K m² (台湾)
- ・ 36,782.44K m² (九州本島)

■大きい岩手県 (全国2番目)

- ・ 15,278.89K m²
- ・ 18,297.75K m² (四国本島)
- ・ 13,559.23K m² (埼玉・千葉・東京・神奈川)

■大きい盛岡市 (全国45番目)

- ・ 886.47K m² (岩手県6番目)

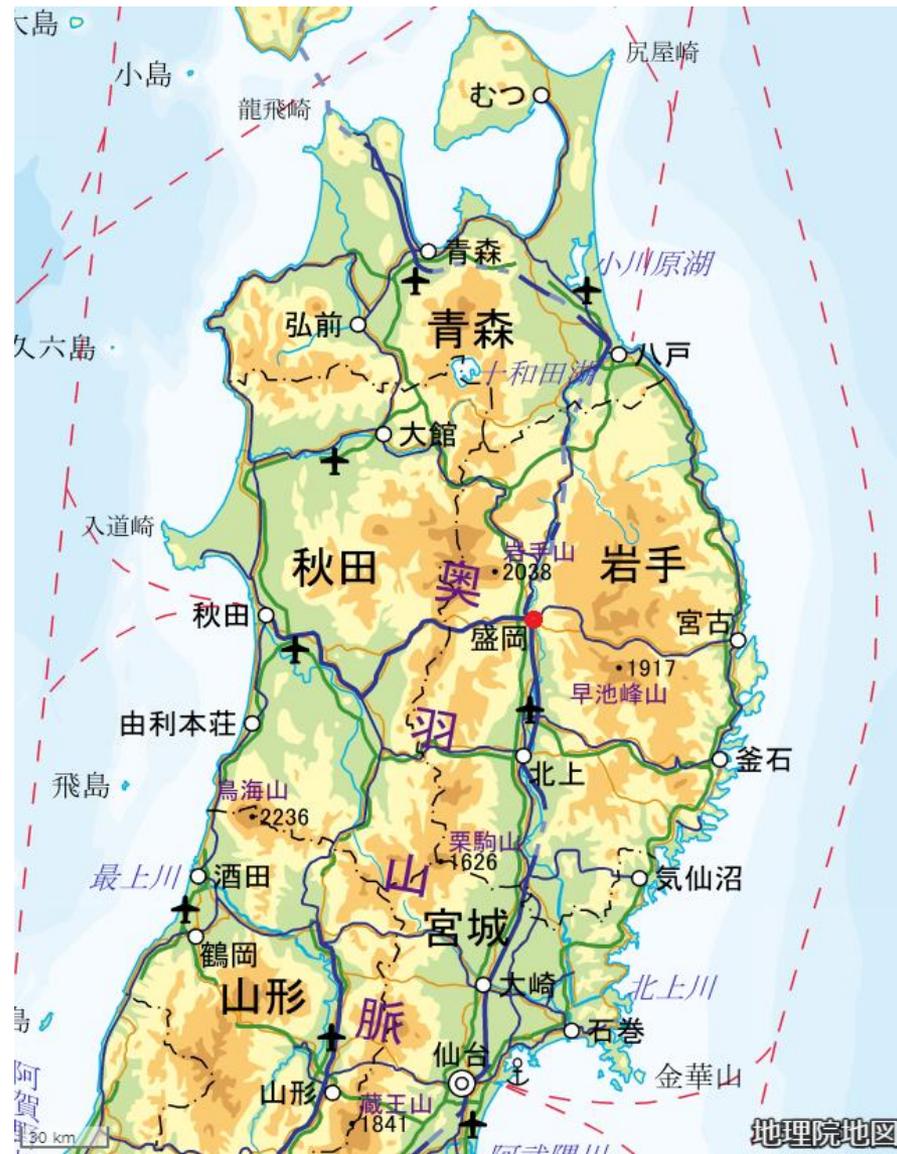
うち森林面積は650K m² (市域の73%)

都市部、郊外、中山間まで多様な地域が存在

- ・ 669.26K m² (琵琶湖)
- ・ 855.68K m² (佐渡島)

■大きい広域連携

- ・ 3,839.77K m² (3市5町)
 - ・ 3,798.08K m² (埼玉県)
- 埼玉県面積全国39番目



地理院地図 (国土地理院) を加工して作成

盛岡市の現状(2)

■沿革

- ・明治21年 市制施行 (4.47K m^2)
- ・平成4年 都南村と合併 (489.15K m^2)
- ・平成18年 玉山村と合併 (886.47K m^2)
- ・平成20年 中核市へ移行

■基礎データ

- ・位置 岩手県の内陸中心部に位置
交通の結節点(秋田・青森・宮古)
- ・人口 286,583人(R4年6月1日現在)
- ・面積 886.47K m^2
- ・財政規模 約1,276億円(R4年度当初一般会計)
- ・施設保有量 約104万 m^2 (R2年度行政財産)

■特徴

- ・県庁所在地
広域施設を保有, 県有施設も数多く所在
- ・歴史ある城下町
- ・名物 三大麺 わんこそば、盛岡冷麺、じゃじゃ麺
南部鉄器 南部せんべい 日本酒 豆腐
- ・プロスポーツチーム いわてグルージャ盛岡(J2) 岩手ビッグブルズ(B3)
- ・県庁所在地の日最低気温 2番目 1991年~2020年までの30年平均
札幌市-6.9度 盛岡市-5.7度 長野市 -4.4度 青森市-3.9度



地理院地図(国土地理院)を加工して作成

アセットマネジメントに係る取組の背景

公共施設の現状

市は、高度経済成長期から現在まで多くの施設を建設してきました。このうち築30年を超える施設が全体の約4割を占め、多くの施設の建て替えや大規模改修が必要となっています

維持更新費用の増大

公共施設の全てを保有した場合の維持更新費用は、向こう40年間で約4345億円。年平均100億円を超え、これまでの費用（年平均49億円）の2倍以上が必要となります

少子高齢・人口減少社会の到来

20年後の平成47年には、ピーク時と比べ、14歳以下の年少人口が6割、15～64歳の生産年齢人口が3割も減少する見込み。一方、65歳以上の人口は増加が見込まれます

厳しい財政状況

人口構造の変化や経済状況の低迷などから、老人福祉や生活保護などのための費用が著しく増加。毎年度、限られた予算の多くがそうした経費に充てられ、財政の硬直化が進んでいます

Ⅱ これまでの取組

21年度	自治体経営の指針及び実施計画の策定 公共施設の配置のあり方の検討、維持管理手法の具体化を行うことを定める
22～ 23年度	岩手県立大学盛岡市まちづくり研究所で調査研究 具体化手法を研究し、長寿命化と総量縮小が有効であると提言を受ける
24年度	資産管理活用事務局の設置 専任組織を設置し、公共施設の利用状況や経営状況、建物状況の収集・分析
25年度	公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針策定 目指すべき施設保有の姿など基本方針を定める
	市民討議会開催 「考えよう！みんなの建物の未来」をテーマに、幅広い市民意見を聴取
	公共施設利用運営状況（施設カルテ）公表 24年度に収集した情報を分析して公表
26年度	公共施設等マネジメント推進会議開催 有識者らの意見を聞く会議を開催（26年度は全5回）
	公共施設保有最適化・長寿命化長期計画策定 施設用途別の方向性などを定める

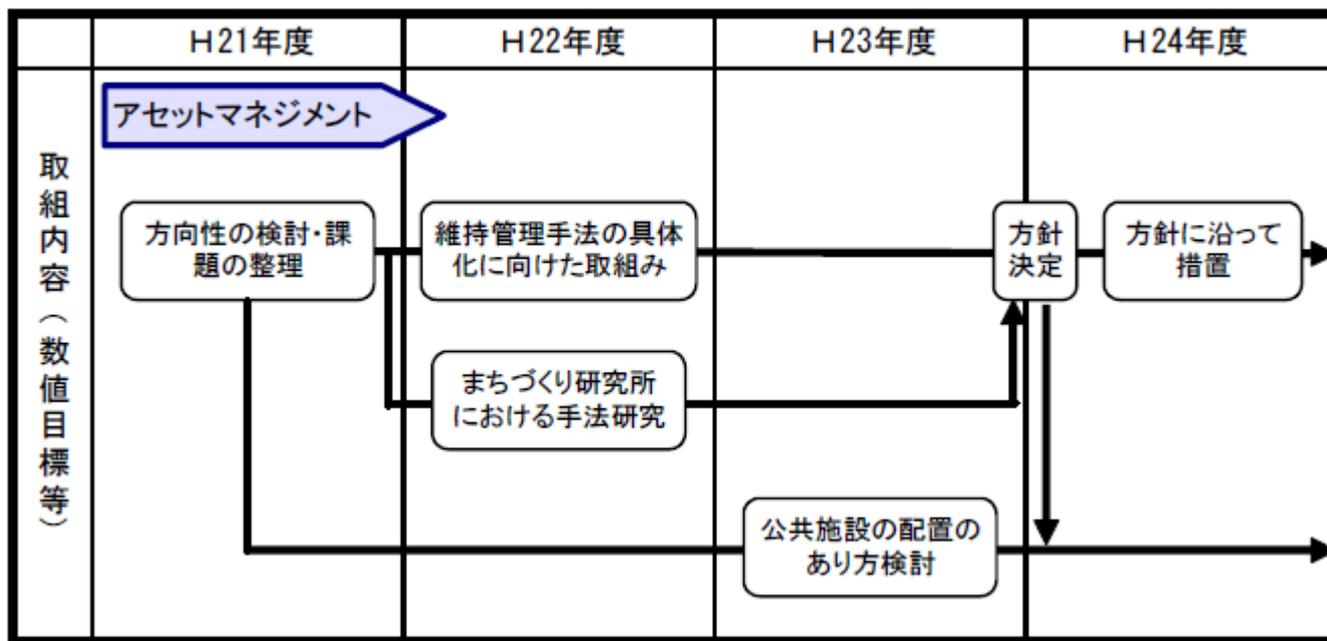
Ⅱ これまでの取組

27年度	市民フォーラムの開催 公共施設の在り方を考える講演やパネル討論会を開催(延べ210人参加)
	市民意見交換会の実施 市内30地区で、長期計画の説明と中期計画などを策定するための意見交換会を実施(延385人が参加)
	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(案)公表 施設ごとに見直しの方向性や工事の実施を定めた10年間の計画案を公表
	中期計画(案)に係る市民説明会 市内32地区ごとに計画内容を説明(全10回延365人が参加)
	中期計画(案)のパブリックコメントを実施
	公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(H28~37)の策定
	公共施設保有最適化・長寿命化実施計画(H28~30)の策定 中期計画を円滑に推進するため、向こう3年間に実施する事業を定める計画
28年度	中期計画・実施計画の実施 (実施計画の更新)
29年度	もりおかPPPプラットフォーム設置

H21 自治体経営の指針及び実施計画

■ 公共施設アセットマネジメントの推進 (6つの柱の1つ)

全庁的な視点のもとに施設の維持管理のさらなる効率化や更新費用の低減, 平準化を進め, コストと便益の最適化を図りつつ公共施設を管理・活用するための取組みを進める。



H22,23 盛岡市まちづくり研究所(岩手県立大学)

「長寿命化」と「総量縮小」の組み合わせこそが、限られた財源を有効に活用して市民サービスの質を維持・向上させる有効な手法であると提言

取組内容		1年目	2年目	3年目以降
●施設保有の最適化に向けた取組み		→		
①基本情報の収集及び公開	基本方針策定		→	
	基本情報収集(一元化)		→	
	施設白書作成		→	
②施設評価	建物性能評価		→	
	利用度評価		→	
	施設評価調整シート作成		→	
③多目的利用・複合化の検討	現地調査等定性的情報収集		→	
	全庁横断的な検討		→	
	多目的利用・複合化決定		→	
④長寿命化	劣化診断		→	
	更新優先順位付		→	
	更新工事手法検討		→	
	更新計画作成		→	
●経常的修繕・新規整備への対応		→		



14自治体, 2省庁, 5団体, 6大学の協力を得て研究 研究成果報告書はこちら↓
http://www.city.morioka.iwate.jp/dbps_data/_material/_files/000/000/003/555/houkokusho-h23.pdf

H24 資産管理活用事務局設置

○財政部に専任組織を設置

事務3名，建築士2名により
資産管理活用事務局を組織

○基本情報の収集

(1)資産管理基本情報収集事業
(委託3,200万円)

- ・「建物性能」「利用実態」「運営コスト」収集
- ・現地調査(写真・図面を収集)調査員15名
- ・施設カルテの作成
- ・保全の優先順位づけの指標整備
- ・施設評価のための指標整備

(2)保全状況調査事業(直営880万円)

- ・臨時職員6名(内建築士3名)を雇用
- ・施設の保全状況を把握(819棟)

貸付関係							
稼働率(%)	74.4	(面積加重平均)		コマ数	平成23年度		
		貸付単位	貸付施設(部屋)名		広さ	収容人数	平日
団体・個人	体育館	459㎡	350人	稼働率	93.2	88.7	91.8
				利用数	2,739	1,214	3,953
				利用可能数	2,940	1,368	4,308
団体・個人	第一集会室	32㎡	25人	稼働率	25.9	19.5	23.8
				利用数	762	271	1,033
				利用可能数	2,940	1,392	4,332

評価結果	廃止	評価指標				参考指標		
		評価指標	平成23年度	偏差値	平均	保全状況調査	点数	順位等
建物性能 (縦) / 利用状況 (横)		業年数	38年	40.2	24.4	総合評価	38.9	385/425
		劣化状況(保全調査)	38.9点	36.9	66.7	建築	20.18	371/425
		耐震状況	2.3点	26.3	4.4	電気	6.66	388/425
		総合評価(偏差値)		34.5		機械	12.14	354/425
		総合評価(偏差値)				バリアフリー未対応(様平均)	6	40.3
分類の種類	継続：建物性能が高く、利用状況も高い。 改善：建物性能が低い、利用状況が高い。 見直し：建物性能が高い、利用状況は低い。 廃止：建物性能が低く、利用状況も低い。	評価指標	平成23年度	偏差値	平均	参考指標	値	偏差値
		園児・児童・生徒数	288.0人	49.1	309.5	団体利用及び自主事業に係る延利用人数	-	-
		市営指針千戸当りの利用量	0.003人(戸)	49.2	0.0	同推定実利用人数	-	-
		面積当り利用量	0.041人(戸)	47.0	0.1	同平均利用回数	-	-
総合評価(偏差値)			48.4					

施設保全状況調査票 (Ver. 2.1)				総合評価 (③+⑥+⑨)			
施設名/棟名	〇〇小学校		調査日	2012/6/28		小数点以下2位を四捨五入して小数点以下1位にする	38.2
施設番号/棟番号/棟番号	431	001	管理者			耐震基準	C
住所	△△		調査者			新耐震、補強済み:A	旧耐震で補強計画中:B
						旧耐震で補強計画無し:C	
種業	14	①評価点小計	36	②対象項目満点	19.44	③60点満点換算(①/②)×60	小数点以下3位切捨て
屋根	3	陸屋根	5:問題なし	4:劣化有り問題なし	3:小さな亀裂あり	1:亀裂多数で雨水浸入	0:雨漏りあり、早急に修繕
		アスファルト	5:問題なし	4:劣化有り問題なし	3:フック+破砕あり	1:破砕広域、目地破砕	0:雨漏りあり、早急に修繕
		屋根葺き	5:問題なし	4:劣化有り問題なし	3:新面積が90%	1:錆面積70%	0:全面錆あり、漏水
		塗膜	5:問題なし	4:劣化有り問題なし	3:1ミリを超えるクラック	1:クラック錆汁露出、浮き	0:剥落あり人身危険・浸水
		塗膜剥離	5:問題なし	4:1ミリ以内のクラック	3:構造体錆50%未満	1:構造体錆50%以上有り	0:錆深刻、木部、アス破砕
		RC	5:問題なし	4:1ミリ以内のクラック	3:雨の掛かる部分有	1:木部腐食多、防蟻剤有	0:劣化、蟻食害 傾斜浸水
躯体	0	躯体種類	5:問題なし	4:1ミリ以内のクラック	3:塗装退色シール劣化	1:剥落の恐れ、人身安全	0:剥落有、人身危険・浸水
		RC	5:問題なし	4:1ミリ以内のクラック	3:一部又は一面	1:フロンク、欠損、シール剥離多	0:壁剥落、凍害、シール浸水
外壁	1	外壁種類	5:問題なし	4:劣化有り問題なし	3:塗装退色シール劣化	1:剥落の恐れ、人身安全	0:剥落有、人身危険・浸水
		タイル	5:問題なし	4:劣化有り問題なし	3:一部又は一面	1:フロンク、欠損、シール剥離多	0:壁剥落、凍害、シール浸水
		タイル	5:問題なし	4:劣化有り問題なし	3:一部又は一面	1:フロンク、欠損、シール剥離多	0:壁剥落、凍害、シール浸水
屋外部品	1	屋外部品	5:問題なし	4:劣化有り問題なし	3:問題なし	1:劣化、グラつき、人身安全	0:落下、人身危険
		屋根	5:問題なし	4:劣化有り問題なし	3:問題なし	1:劣化、グラつき、人身安全	0:落下、人身危険
外部建具	3	外部建具	5:問題なし	4:劣化有り問題なし	3:問題なし	1:劣化、浸水、動作不良	0:落下、危険、スチール窓枠
		動作、防水、材質	5:問題なし	4:劣化有り問題なし	3:問題なし	1:劣化、浸水、動作不良	0:落下、危険、スチール窓枠
経過年数	6	経過年数	15:~10年	13:11年~20年	10:21年~30年	6:31年~40年	0:41年~
		建築年数(大規模改修0年)	15:~10年	13:11年~20年	10:21年~30年	6:31年~40年	0:41年~
コメント:各所に鉄筋露出、モルタル落下が見られる。手摺に錆あり、外部塗装の劣化が激しい。軒天換気口に網無し。妻側部下張り部分割れあり。							
電気設備	4	④評価点小計	15	⑤対象項目満点	6.66	⑥25点満点換算(④/⑤)×25	小数点以下3位切捨て
受変電キュービクル	0	受変電キュービクル	5:問題なし	3:点検業者指摘あり	2:発熱、異音	0:耐用年数経過	
エレベーター	無	業者点検状態	5:問題なし	3:点検業者指摘あり	2:発熱、異音	0:使用停止	
自家発電電機・類	無	業者点検状態	5:問題なし	3:点検業者指摘あり	2:本体使用制限応急処置	0:使用停止	
経年数	4	経過年数	10:~10年	8:11年~20年	6:21年~30年	4:31年~40年	0:41年~
		経過年数	10:~10年	8:11年~20年	6:21年~30年	4:31年~40年	0:41年~
機械設備	17	⑦評価点小計	35	⑧対象項目満点	12.14	⑨25点満点換算(⑦/⑧)×25	小数点以下3位切捨て

H25 公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針

目指すべき施設保有の姿

- ①次世代に継承可能な施設保有（量の最適化）
- ②ニーズの変化に対応した住民サービスの提供
（サービスの最適化）
- ③効果的で効率的な施設運営（コストの最適化）
- ④安全に使用できる施設整備（性能の最適化）

新規整備の抑制(新規の設置及び取得は、原則行わない)
既存施設の見直し(施設評価の実施)
などを定める。

H25 市民討議会の開催

計画策定にあたり市民討議会「考えよう！みんなのタテモノの未来～共に考え・語ろう！公共施設のこれから～」を開催

【1日目】 平成25年10月12日（土曜日） 9時30分から16時15分まで

【2日目】 平成25年10月27日（日曜日） 9時30分から15時48分まで

盛岡青年会議所と協働で開催し、施設の現地視察や専門家などからの情報提供を受けながら公共施設の老朽化問題への対応策を検討



18歳以上の市民3000人に案内し応募のあった市民134人から抽選により44人を選出（当日は18歳～80歳代までの36人が参加）



討議結果は市民提言書にまとめられ市長に提出されました。市民提言書はこちら↓
<http://www.city.morioka.iwate.jp/machizukuri/28638/index.html>

H25 市民討議会の開催(当日の構成)

○平成25年10月12日(土)【1日目】

9:30～ 9:45	開会式・説明
9:45～ 12:00	<p>現地視察① 大新小学校(10:10～) 【説明】大新小学校校長 佐々木 健 様</p> <p>現地視察② 厨川児童・老人福祉・地区活動センター(10:50～) 【説明】同センター所長補佐兼館長補佐 石川 孝 様</p> <p>現地視察③ 青山二丁目アパート青山三丁目アパート(11:20～) 【車内説明】実行委員会委員</p>
12:00～ 12:45	昼食
12:45～ 13:50	「テーマ1 (練習討議) 公共施設の視察を行い感じたこと。」 話し合い・発表・投票
14:05～ 14:30	「テーマ2 公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか。」【情報提供】実行委員会委員 盛岡青年会議所 理事 吉田 光晴
14:30～ 16:05	テーマ2話し合い・発表・投票
16:05～ 16:15	閉会式・事務連絡

○平成25年10月27日(日)【2日目】

9:30～ 9:56	開会式・説明
9:57～ 10:11	<p>前回の振り返り 【情報提供】実行委員会委員 盛岡青年会議所 理事 吉田 光晴</p>
10:12～ 10:51	<p>「テーマ3 地域で利用している施設を、どのように見直していくべきか。」 【情報提供】 地域利用施設の再整備の観点について 日本大学経済学部教授 中川 雅之 様</p>
11:02～ 12:30	テーマ3話し合い・発表
12:30～ 13:15	投票・昼食
13:15～ 13:56	<p>「テーマ4 全市的に利用している施設を、どのように見直していくべきか。」 【情報提供】 全市的利用施設の再整備の観点について 日本大学経済学部教授 中川 雅之 様</p>
13:57～ 15:26	テーマ4話し合い・発表・投票
15:40～ 15:48	閉会式・事務連絡

H25 市民討議会の開催（討議結果）

公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか？

1位 複合化・多目的利用を行う 25票

今後は複合施設として建設する	大型商業施設とコラボする(大型商業施設内に公共施設を入れる)	他の目的にも共通して使える施設配置とする	公営アパートは、増加する空き家を利用する
----------------	--------------------------------	----------------------	----------------------

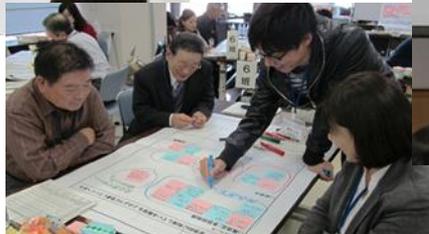
2位 市民の問題意識の向上が必要 18票

箱物を作ることを利用者も良く考えることが必要	問題を分かりやすく広報する	市側に要求するだけでは良くない
------------------------	---------------	-----------------

3位 統廃合が必要 16票

必要施設を選別しなければならない	施設の必要性の検討、分析をすべき	類似する施設は統廃合する	施設を不要・必要・新たに必要に分ける
------------------	------------------	--------------	--------------------

- | | | |
|-----|-------------------|-----|
| 4位 | 価値のある古いモノを生かす | 14票 |
| 5位 | 長期展望・計画をつくる | 11票 |
| 5位 | 生産年齢人口を増やす | 11票 |
| 5位 | 人材育成が必要 | 11票 |
| 8位 | 老朽化対策の総合的機関を設置する | 9票 |
| 9位 | リサイクルを考慮した建設を行う | 8票 |
| 9位 | 税外収入を確保する | 8票 |
| 11位 | 税財源を見直す(工場誘致) | 7票 |
| 12位 | 利用者の料金負担を行う | 5票 |
| 12位 | 解体・修繕を行う | 5票 |
| 14位 | 環境に配慮した住みやすい町 | 4票 |
| 14位 | 外部委託により施設維持費を削減する | 4票 |
| 14位 | 新設は拡大展開しない | 4票 |



テーマ：公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか。

作業スペース

議論の経緯

まとめ欄

1	現状分析(施設の必要性) 必要な施設の選別、統廃合	●●●●●
2	外部委託による施設維持費の削減、サービス向上	●●●●
3	生産年齢と相関した収入の確保(まち作り) (市民負担の少ない納税方法としての納税の導入)	●●●●●

残したい意見

市の土地や施設は、中金で守りたい

10
4
11

H25 市民討議会の開催（討議結果）

地域で利用している施設を、
どのように見直していくべきか？

1位 統廃合と民間委託について、
具体的に検討する **16票**

不要なハコ物は 思い切って解体 する。土地は売 却又は貸出する	児童・老人・地区 活動センターを統合 し地域住民の集 いの場にする	統合することによ って世代間交 流が出来るの ではないか	管理運営は民 間活力を利用 する
--	--	---------------------------------------	------------------------

2位 施設の機能（サービス）は維持し、
設備（ハコ）は簡素化・集約する **14票**

地域で利用できる 施設を1つに 集約する	学校を統廃合し ても良いのでは 距離を考慮中心 に配置する	老朽化したもの は隣接地区と併 合する	デマンドバスの 活用で施設の エリアを広める
----------------------------	--	---------------------------	------------------------------

3位 施設の区割りを見直し広域化を行う **13票**

将来(地域人口 減等)を見通した まちづくりを行う	小・中学校の学 区の見直しを行 う	地域を再編する 2、3地区を1つ にする	広域化に対応し、 情報・交通サー ビスを充実する
---------------------------------	-------------------------	----------------------------	--------------------------------

3位 既存・新築の統合複合 **13票**

学校の図書館・ プール・体育館 をみんなで使う	児童センターを なくし、小中学 校の中に入れる	老人福祉施設も 小中学校に入れ る	市営住宅の1階 に児童・老人施 設をつくる
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------	-----------------------------

3位 民間との協力 **13票**

ショッピングセンターと 公民館を併設す ると、利用率の 確保につながる	新しく建てる際 は、コンビニや レストランなど を入れる	体育館を民間の スポーツジムな どに運営を任せ、 収入を得る
--	---------------------------------------	---

6位 利用目的・利用形態を考える（公民館） **12票**

7位 利用率にとらわれない姿勢 **10票**

8位 交通手段の利便性を考える **9票**

9位 小中学校を基本にして施設を見直す（学校を地域で利用） **7票**

（以下省略）

全市的に利用している施設を、
どのように見直していくべきか？

1位 施設機能の積極的な対外PRを行う **16票**

利用してもらえ ようPRが必要	オンライン化やIT化に よる情報周知を行う ネット利用して積極 的に全国展開する	施設へのアクセ スを充実させる
--------------------	---	--------------------

2位 施設利用の広報活動をする **16票**

各施設のPRが不 足している	指定管理者の活 動方針が良く分か らない
-------------------	----------------------------

3位 施設統廃合による不便は、デマンドバスの
導入でサービスを落とさない(IT活用) **13票**

施設を減らした経費 で、バスを導入して 運用することにより、 利便性が向上する	庁舎、支所・出 張所は、設置の 意義が見出せ ないものもある	図書館は、学校や 公共の蔵書をネット ワークで検索活用す る仕組みとしては
--	---	--

4位 施設運営の充実化 **11票**

図書館は、統合し専 門書等を充実させる カフェやCD・DVDレンタル との複合化を行う	体育施設は、ダ ンス教室やヨガ・ フィットネスなどの 複合化を行う	博物館等の施設 は展示内容の更 新(他市との入 れ替え)を行う
--	--	--

5位 重複施設を減らす **10票**

ホールは多い。集約 しコストダウンし、上質 なソフト(催し)を呼び 子ども達に見せる	図書館はエリア内の小 中学校と複合化する 学校には図書館が あり複合化可能	記念館・博物館 は類似している ものを統合する	合併前の全市的 に利用している 施設を地域利用 施設に組み込む
---	--	-------------------------------	--

6位 支所・出張所の統廃合 **9票**

6位 施設目的・必要性の再検討（県・近隣地域との共同利用、
市民意見を募る） **9票**

6位 少子高齢化に対応し民間アイデアを取り込む **9票**

9位 利用者が増えるように宣伝する(観光PR、イベント、ゆるキャラ) **8票**

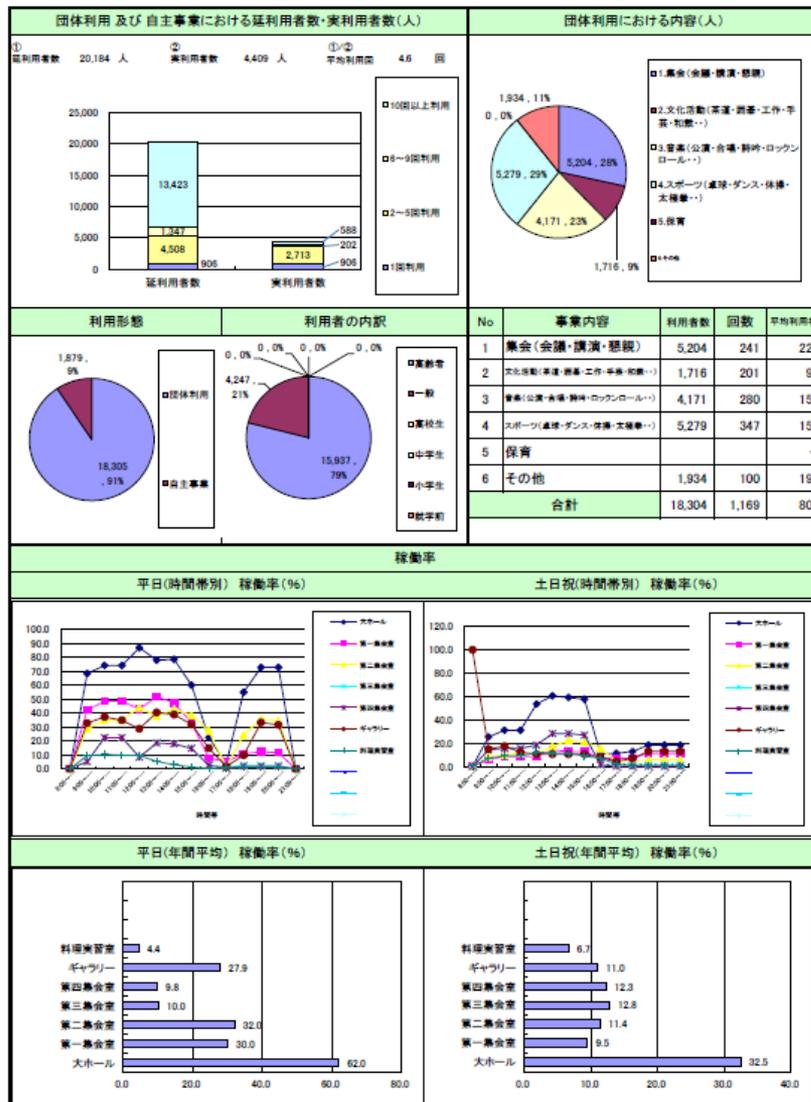
10位 民営化・委託（行政サービスを民間委託・証明書発行は
ATMでIT化） **7票**

（以下省略）

H25 公共施設利用運営状況(施設カルテ)の公表

362施設の建物情報・コスト情報・利用情報を公表

施設番号	89	利用用途別分類	公民館・集会所等							
施設名称	青山地区活動センター	利用区域別分類	コミュニティ地区圏域							
住所	青山三丁目37番7号	外観								
所管課	市民協働推進課									
開設年月日	昭和54年4月1日	内部								
運営形態(指定管理者)	指定管理者									
指定管理等契約期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日	設置根拠法令	盛岡市地区活動センター条例							
指定管理者等名称	社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団	設置条例	盛岡市地区活動センター条例							
開設時間	9時～21時	休館日								
設置目的	盛岡市地区活動センター条例第2条住民の集會、レクリエーションその他コミュニティ活動のための施設	サークル、市民活動団体、PTA								
利用情報	(区分・単位)	平成23年度	前年比%	平成22年度	平成21年度	土地面積	2,222.98㎡	現況地目	宅地	
	利用者数(人)	37,556	78.2	48,014	56,877	土地所有形態	市有・民間	借受面積		
	開放日数(日)	361	100.3	360	360	複合施設の有無	有	青山老人福祉センター、青山支所		
	1日当たり利用者数(人)	104.0	78.0	133.4	158.0	用途地域	第一種住居地域			
	稼働率(%) (面積加重平均)	39.7	-	-	-	総延床面積	1,574.02㎡	築年数(主たる建物)	33年	
	面積当たり利用量 (人・時/㎡)	23.9	-	-	-	建物所有状況	市有	未利用スペース	-	
	利用量当たりの市職員稼働 (人・時/㎡)	780	-	-	-	前置診断(主たる建物)	充実	前置補強(主たる建物)	未対応	
	児童・児童・生徒数(人)	-	-	-	-	階数・構造(主たる建物)	地上3階・鉄筋コンクリート造			
	入居戸数(戸)・貸出戸数(戸)	-	-	-	-	建設費用(千円)	545,606			
	事務取扱件数(件)	-	-	-	-	事務取扱件数(1年あたり平均)	12,559			
収入	(区分・単位)	平成23年度	平成22年度	平成21年度	(区分・単位)	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	市の収入計① (②+③)	134	0.8	152	178	市の支出計⑤ (指定管理料除く)	977	5.8	878	730
	使用料(減免後)②	128	0.8	146	172	施設のコスト	977	5.8	878	730
	その他③	6	0.0	6	6	事業のコスト	0	0.0	0	0
	④参考 使用料減免額④	0	0.0	0	0	人に係るコスト	0	0.0	0	0
	指定管理者の収入計⑤	16,013	99.2	16,013	16,087	指定管理者の支出計⑥	15,949	94.2	15,896	16,267
	指定管理料⑥	15,882	98.4	15,877	15,986	施設のコスト	6,908	40.8	7,129	7,324
	利用料金収入⑦	0	0.0	0	0	自主事業以外のコスト	0	0.0	0	0
	自主事業収入	0	0.0	0	0	自主事業のコスト	0	0.0	0	0
その他収入	131	0.8	136	101	人に係るコスト	9,041	53.4	8,767	8,943	
収入合計⑧	16,147	100.0	16,165	16,265	支出合計⑩	16,926	100.0	16,774	16,997	
指定管理者の収支差引 (⑤-⑥)	64	-	117	△180	単年度市員稼働⑪ (⑨-①+⑧)	16,725	-	16,603	16,538	
使用料等の収入が支出合計に 占める割合(①+②+③)/⑩	1.6	-	1.7	1.6	職員費用等7割の1年当たり の市職員稼働(⑨-②)	29,284	-	29,162	29,097	
使用料減免割合(%) (④÷(②+④)×100)	0.0	-	0.0	0.0						



H26 公共施設等マネジメント推進会議設置

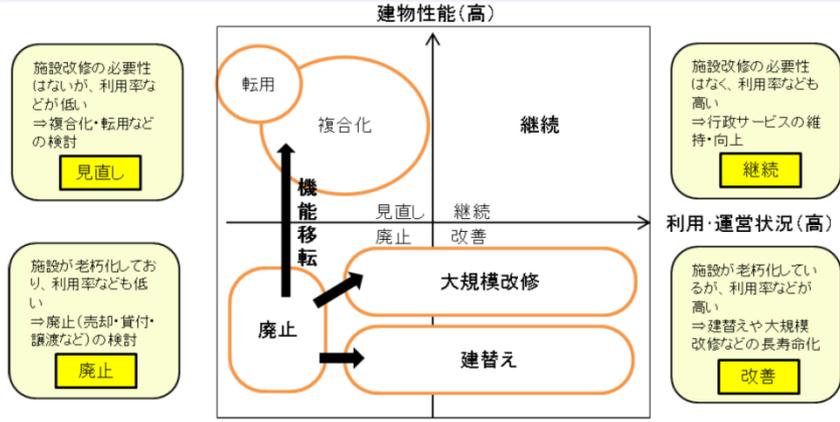
公共施設等の効率的かつ効果的な管理及び活用の推進について、意見等を求める有識者等7人(①学識経験者②税理士③町内会・自治会代表④女性団体代表)

H26 第1回 6月30日	公共施設等マネジメントの取り組みについて 正副委員長の選出、市の取組状況を説明
H26 第2回 7月31日	公共施設の現地視察、施設評価について 市内の公共施設の現地視察を行った後、施設評価二次評価の観点を協議
H26 第3回 8月21日	公共施設保有の最適化と長寿命化の計画(長期計画)の策定について 計画の骨子及びその内容について協議
H26 第4回 10月24日	公共施設保有最適化・長寿命化長期計画(案)の策定について 計画案について協議
H26 第5回 2月13日	公共施設等総合管理計画(案)について 向こう10年間の基本的な方向性と取り組みを定める計画案を協議
H27 第1回 5月22日	市民フォーラムに参加 公共施設等在り方や更新問題について理解を深める
H27 第2回 10月2日	盛岡市公共施設保有最適化・長寿命中期計画(案)について 計画案について協議
H27 第3回 1月26日	盛岡市公共施設保有最適化・長寿命中期計画(案)の変更について 市民説明会・パブリックコメント等の結果に伴う計画案の変更について協議

H26 施設評価(1次評価)

○定量評価(358施設)

建物性能(ハード面)と利用
運営状況(ソフト面)の2軸で類型化
(継続101, 改善72, 見直し118, 廃止67)



○ヒアリング

1次評価結果の通知と併せ、
2次評価用の施設評価調査
を実施
(量, サービス, コストの最適
化案を各課に提案してもらう)



ヒアリングで内容を掘り下げる



2次評価 や 用途別方針(長期計画)の作成に活用

施設評価調査票

3 施設の評価 (See)

(1) 1次評価結果

<input type="checkbox"/> 継続 (建物性能: 高い, 利用状況: 高い)
<input type="checkbox"/> 改善 (建物性能: 低い, 利用状況: 高い)
<input type="checkbox"/> 見直し (建物性能: 高い, 利用状況: 低い)
<input type="checkbox"/> 廃止 (建物性能: 低い, 利用状況: 低い)

(2) 2次評価のための調査項目

A 量の最適化

(7) サービスの重要性

① 施設で行われている事務事業

事務事業名	
事務事業名	
事務事業名	
事務事業名	

② 市の関与の妥当性

<input type="checkbox"/> 法律で設置が義務付けられている施設 【例】 義務教育施設, 庁舎, 保健所
<input type="checkbox"/> 市民生活に必須の施設 【例】 夜間急患診療所, 消費生活センター, ひまわり学園など
<input type="checkbox"/> 市民が社会生活を営むうえで、必須の施設 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために、必要な規制、監視指導、情報提供、相談などを目的とした施設 個人の方だけでは対処し得ない社会的弱者を対象に、生活を支援する施設で、民間により同種のサービスの提供がなされていない施設
<input type="checkbox"/> 多くの市民に受益が及ぶ施設(Aを除く) 【例】 図書館, 記念館, 地区活動センターなど
市民福祉の増進を目的とし、全ての市民が利用することのできる施設 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは市外へ情報発信することを目的とした施設
<input type="checkbox"/> 限られた市民に受益が及ぶ施設(Bを除く) 【例】 老人福祉センター, コミュニティセンターなど
限られた市民や団体を対象としたサービスであって、サービスの提供を通じて、利用者やその家族などに受益が及ぶ施設
<input type="checkbox"/> 多くの市民に受益が及ぶ施設のうち民間を補完する施設(A) 【例】 プール, 宿泊施設など
市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれずこれを補完する施設
<input type="checkbox"/> 限られた市民に受益が及ぶ施設のうち民間を補完する施設(B) 【例】 市営住宅, けやき荘など
民間のサービスだけでは市域全体にとって望ましい質、量のサービスの確保ができないため、これを補完・先導する施設
<input type="checkbox"/> それ以外の施設 (公的関与が認められない施設)

(4) 代替手法の有無

① 役割分担

国・県等において、サービスが類似する施設がある (有の場合、類似施設名称)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
民間事業者において、サービスが類似する施設がある (有の場合、類似施設名称)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
地域団体などの活動団体が主体となった運営が望ましい。 (望ましい管理運営主体)	<input type="checkbox"/> 該当 ・ <input type="checkbox"/> 非該当

② 機能の重複

市の施設において、サービスが類似する施設がある (有の場合、類似施設名称等)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
---	---

③ 施設の有効性

施設に対する需要の推移	<input type="checkbox"/> 高まっている ・ <input type="checkbox"/> 変わっていない ・ <input type="checkbox"/> 低下している (需要の変化の要因)
当該施設を使わないサービス提供が考えられるか (考えられる内容)	<input type="checkbox"/> 考えられる ・ <input type="checkbox"/> 考えられない

イ サービスの最適化

多目的利用 (設置目的以外の利用) の可能性がある (有の場合、その内容)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
利用対象者の拡大 (利用者数の増加) の可能性がある (有の場合、その内容)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
施設余剰の活用可能性がある (有の場合、その内容)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
公民連携など民間ノウハウを活用する可能性がある (有の場合、その内容)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無

ウ コストの最適化

管理運営における経費削減のための見直しの可能性がある (有の場合、その内容)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
市民から見て、適切な受益者負担が行われていると感じる (所管課の考え) <input type="checkbox"/> 行われている ・ <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある ・ <input type="checkbox"/> 行われていない (見直しが必要) (そう感じる理由)	
貸付・売却の可能性がある (有の場合、その内容)	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無

H26 施設評価(2次評価)

○定性評価

一次評価で見直し・廃止に分類された施設を中心に、地理的特性、利用実態、サービスの重要性や代替手法など、詳細情報を確認し今後の方向性を定める

- 観点1 役割分担が可能であるか。 観点2 民間活力の導入が可能であるか。
- 観点3 機能の重複があるか。 観点4 施設の有効性が低下していないか。
- 観点5 代替手法で対応できないか。 観点6 機能移転が可能であるか。
- 観点7 将来的に施策の成果向上に資することが期待できるか。

○ヒアリング

長期計画で定めた用途別の方針と、上記7つの観点に照らし、各施設が今後どのようなになれば良いかを、各部等が提案。同時に事務局案も提示しヒアリングへ。各部次長の全体説明後、担当係長が説明。

【ヒアリング資料イメージ】

施設名称	用途分類	用途別の方針	1次評価結果	資産管理活用事務局案			各部等提案		調整案		
				建物	機能	内容	建物機能	内容	建物	機能	内容
市庁舎	庁舎	長寿命化を図る大規模改修など大きな経費を要する前に、庁舎を段階的に集約します。	II	建替	継続	・庁舎機能は、本庁舎、都南総合支所、玉山総合事務所に段階的に集約する。 ・地方自治法において地方公共団体の事務所の位置を定めることとしており、市庁舎は必置である。 ・毎年2億円を市庁舎整備基金に積み立てていることから、基金造成を開始した平成23年からおよそ20年を経過する平成43年に建替えを行う。	建替 え 新設	およそ20年後、内丸周辺の分庁舎をも集約した新庁舎を建設する。 (建設地未定)	建替	継続	庁舎機能は、本庁舎、都南総合支所、玉山総合事務所に段階的に集約する。 毎年2億円を市庁舎整備基金に積み立てていることから、基金造成を開始した平成23年からおよそ20年を経過する平成43年を目指して、建替えを行う。
肴町分庁舎	庁舎		II	譲渡	移転	・中心市街地に位置し資産価値が高いことから、他の庁舎に機能移転し、譲渡する。 ・国体終了後に他の庁舎に機能移転し、譲渡とする。	その他	組織機構の改編等に併せ、庁舎の集約化を図っていくこととする。 手狭な本庁舎を補完する分庁舎として、市民及び職員の利便性が高いことから、集約化されるまでの間、施設設備機能を維持させていく。	譲渡	移転	国体終了後に、組織機構の見直しに合わせて内丸分庁舎に機能移転し、譲渡する。

建築物系施設について、向こう20年間の具体的な取組の方向性を定める基本計画

施設別の方向性

■庁舎

大規模改修などで大きな経費が必要になる前に、庁舎を段階的に集約します。



■公民館・集会施設など

「市民協働」の方針を基本として、協働の拠点づくりを推進します。現在各コミュニティ地区に分散している集会機能や健康増進機能などを、拠点となる施設に集約します。

■高齢者・障がい者などの福祉施設

老人福祉センターは、各コミュニティ地区内の類似施設との集約化を図ります。また、民営化など運営主体の見直しを進めます。

■体育施設

県や民間の保有施設の設置状況を考慮しながら配置のバランスを検討し、民営化や統合を進めます。特定の団体が使用する施設は、その団体への譲渡や廃止などを検討します。



■記念館・博物館

保有数が多く、機能が重複している施設もあるため集約を進めます。収蔵庫の確保や収蔵物の整理などを行いながら、展示物を集約し集客を図ります。

■図書館

民間活力の導入により、費用負担を軽減しながら、さらなる効率化に努めます。県内の図書館と積極的に広域連携するなど、便利



性を考慮しながら適正配置を検討します。

■児童福祉施設

留守家庭児童の増加などにより、放課後児童の安全な居場所の整備が求められています。小学校を活用するなど、児童の活動の場を充実させ児童福祉の増進に努めます。



■学校

余裕教室や敷地の有効活用を推進します。小学校は、学童クラブの活動や児童の遊び場としての利用を進め、児童センター機能との複合化を図ります。中学校は、地域のコミュニティ施設や小学校との複合化・多目的化を検討。複式学級や適正学級規模未満の学校については適正配置を検討します。



H27 市民フォーラムの開催

老朽化問題に関する全国の実例や盛岡市のこれまでの取組を振り返りながら、市民の皆さんと共に、盛岡市の今後の公共施設の在り方を考えるためフォーラムを開催



当日の様子(延210人が参加)



パネルディスカッションの様子(延210人が参加)

これからの公共施設の在り方を考える市民フォーラム

考えよう！未来の盛岡

子ども達に明るい未来を
次世代に継承できる公共施設
持続可能な市民サービスの提供を目指して

入場無料
定員 350人
申込不要
当日会場にお越しください。

日時 平成 27年 **5/22 (金)**
13:30～16:00 (開場 13:00)

会場 **盛岡市民文化ホール 小ホール**
(盛岡市盛岡駅西通二丁目 9-1 マリオス1階)
来場の際は公共交通機関をご利用ください。

総合司会
フリースタジアムサマー
坂口 奈央 さん

第1部 公共施設の現状と課題
①公共施設の老朽化問題とは？
首都大学東京都市環境学部客員教授 山本康友 氏
②先進的な取り組み事例
寮野市公共施設再配置推進課長 志村高史 氏
③盛岡市のこれまでの取り組み
盛岡市資産管理活用事務局

第2部 パネルディスカッション
①これからの公共施設の在り方とは？
首都大学東京都市環境学部客員教授 山本康友 氏
岩手県立大学総合政策学部准教授 赤田但馬 氏
盛岡市公共施設等マネジメント推進会議委員
八木橋美紀 氏
盛岡市まちづくり市民協議会参加者
寮野市公共施設再配置推進課長 志村高史 氏

主催 盛岡市
お問い合わせ 盛岡市資産管理活用事務局 電話 019-603-8007

H27 市民意見交換会の開催

市内30地区で、長期計画の説明と中期計画などを策定するための意見交換会を実施(延385人が参加)

対象地区	開催日	会場
仙北, 本宮, 太田, つなぎ	5月26日(火)	アイスアリーナ
見前, 飯岡, 乙部	5月29日(金)	都南公民館
巻堀・姫神, 好摩, 渋民, 玉山・薮川	6月 2日(火)	渋民公民館
加賀野, 山岸	6月 5日(金)	中央公民館
上田, 緑が丘, 松園, 米内	6月26日(金)	上田公民館
杜陵, 大慈寺, 中野, 築川	6月30日(火)	中央公民館
仁王, 桜城, 城南	7月14日(火)	中央公民館
青山, みたけ, 土淵	7月23日(木)	西部公民館
北厨川, 西厨川, 東厨川	7月28日(火)	西部公民館
全域	7月30日(木)	中央公民館



○当日の流れ

- 18:30 開会(18:00開場)
- 18:30~19:00 公共施設保有最適化・長寿命化長期計画の説明
- 19:00~20:00 対象地区ごとに分かれての意見交換

H27 市民意見交換会の開催

地区ごとに分かれての意見交換

※施設配置図や施設カルテデータを資料配布

これからの公共施設の在り方を考える市民意見交換会 意見交換用紙

お住まいの地区	地区	性別	男・女	年代	歳代
---------	----	----	-----	----	----

意見交換内容

問1 あなたがお住まいの地区の公共施設の良いところや不便なところをご記入ください。

良いところ	不便なところ

問2 施設の老化問題や将来的な人口減少・少子高齢社会の到来を考えた際に、市の公共施設の配置や在り方が将来どうあれば良いか、あなたのお考えをご記入ください。

問3 その他、公共施設について意見・感想等がありましたらご記入ください。

参加者アンケート (該当するものへのチェック等をお願いします。)

- 問1 長期計画の主旨はご理解いただけましたでしょうか。
理解できた だいたい理解できた どちらかと言うと理解できなかった 理解できなかった
- 問2 長期計画の取組は、必要だと思いますか。
必要 どちらかと言うと必要 どちらかと言うと必要ない 必要ない
- 問3 意見交換会や長期計画についての感想等をお聞かせください (自由記載)

○松園地区施設一覧

施設名称	築年数(年) H26.3.31時点	床面積(m ²)	利用者数(人) ◎	稼働率(%)	維持管理費(人件費含) (千円/年) ①	修繕・改修・建替費用 (千円/年) ②	①・②の合計費用 (千円/年) ③	利用者1人当たりの総費用 (円) ③/利用者数◎	利用者数の推移				
									昭和55年度	平成2年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度
松園小学校	40	7,039.00	288	—	41,955	41,656	83,611	290,316	1,242	762	393	372	305
東松園小学校	34	6,466.80	322	—	48,678	44,653	93,331	289,848	580	1,183	377	342	322
松園老人福祉センター	33	206.84	9,606	33	4,986	1,648	6,634	691	—	—	—	—	9,952
松園児童センター	33	334.76	12,826	—	8,847	2,091	10,938	853	—	—	12,431	14,625	13,196
松園中学校	33	8,946.72	325	—	32,467	52,507	84,974	261,458	—	990	494	363	319
松園地区活動センター	32	1,374.00	54,828	53	10,589	11,073	21,662	395	—	—	16,879	61,634	53,257
北松園小学校	20	7,597.99	330	—	48,757	45,261	94,018	284,903	—	—	933	599	356
北松園児童センター	18	395.45	18,267	—	16,315	2,473	18,788	1,029	—	—	16,853	19,010	17,938
北松園老人福祉センター	18	204.55	9,992	26	5,007	1,632	6,639	664	—	—	—	—	10,215
北松園中学校	18	7,095.88	244	—	24,498	42,246	66,744	273,541	—	—	547	441	263
松園地区公民館	5	1,766.67	21,639	44	16,657	6,036	22,693	1,049	—	—	—	—	18,861

注1 ◎利用者数は、年間の延利用者数を記載していますが、庁舎は職員数を、保育園・学校は園児・児童・生徒数を、市営住宅は入居戸数を記載しています。
 注2 ①維持管理費(人件費含)は、管理運営に要した1年当たりの市の負担額(ランニングコスト)です。市が当該施設に支出した費用から使用料やその他の収入を差し引いた額です。
 注3 ②修繕・改修・建替費用は、当該施設を60年と見做し、その間に修繕、改修、建替を行ふものと仮定し、60年間に修繕・改修・建替に要する費用を60年で割り返した額です。

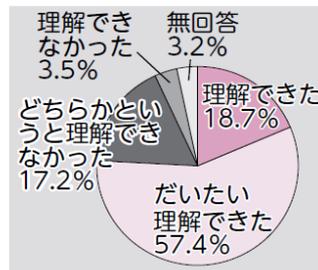
○松園地区人口推計

年齢	年次								人口(人)			平成17年を100とした増減		
	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47	H27	H37	H47	H27	H37	H47
0~14歳	4,090	3,210	2,691	2,454	2,245	1,999	1,695	1,422	76.4	62.3	44.3			
15~64歳	14,485	14,064	12,719	11,161	9,866	8,865	7,961	7,287	79.4	63.0	51.8			
65歳~	2,117	2,997	4,265	5,762	6,911	7,645	8,024	7,890	192.3	255.1	263.3			
合計	20,692	20,271	19,675	19,377	19,022	18,509	17,680	16,599	95.6	91.3	81.9			

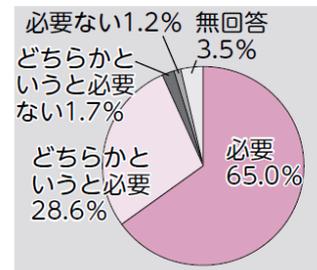
※市民意見交換会について

参加者アンケートの結果、76.1%が「長期計画の主旨について理解できた」「だいたい理解できた」と回答。また、93.6%が「長期計画の取り組みは必要」「どちらかという必要」と回答しました

問1 「長期計画の主旨は理解できましたか」



問2 「長期計画の取り組みは必要だと思いますか」



市民意見交換会報告書はこちら↓

<http://www.city.morioka.iwate.jp/machizukuri/28638/index.html>

H27 公共施設保有最適化・長寿命化中期計画策定

中期計画とは？

中期計画とは、昨年度策定した長期計画を円滑に進めるため、施設ごとに具体的な見直しの方向性や長寿命化に向けた工事の実施時期などを定めた計画です。期間は28年度からの10年間。庁舎や学校、市営住宅など367施設が対象です。



中期計画の主な取り組み

長寿命化に向けた取り組み

耐用年数80年を目指し、築後おおむね20年で修繕、40年で大規模改修、60年で修繕を行うという長寿命化工事を表3のとおり実施。今後20年間に全施設で修繕または大規模改修を実施します。なお、大規模改修の際は、安全・安心、バリアフリー、利便性・快適性、省エネなどに配慮します。

表3 中期計画期間に長寿命化工事を行う施設数

工事の種類	施設数
修繕	59
大規模改修	137
建て替え	11
解体・減築	62
合計	269

※学校については、校舎と体育館、プールに分けて数えています

重点的に取り組むこと

- ①市内に32ある福祉推進会の区域ごとに、今ある施設を活用した地域拠点施設*を確保
- ②老人福祉センターを設置していない地区に、介護予防などを行う場所を確保
- ③学校などを活用した児童センターの設置
- ④劣化が進む前に計画的に「予防保全」を行い、施設を長寿命化

*現在、地域コミュニティの中核となっている施設または将来そうなる予定の施設のこと。交流や健康増進など、幅広い世代がさまざまな活動に利用できる

必要な維持更新費用

中期計画期間の10年間に必要な維持更新費用は541億7700万円。長期計画策定前の推計よりも93億7300万円の縮減を見込んでいます。

表2 中期計画に必要な維持更新費用

用途区分	維持更新費用	構成比
学校	304億5000万円	56.2%
公民館・集会施設	70億1400万円	13.0%
市営住宅	65億8400万円	12.1%
高齢者・障がい者などの福祉施設	21億2400万円	3.9%
その他	80億 500万円	14.8%
合計	541億7700万円	100%

施設保有の最適化に向けた取り組み

表4のとおり個別施設の方向性を定め、複合化などにより施設保有の最適化を進めます。

<複合化のイメージ>

例) 学校の余裕教室などに児童センター機能を移転

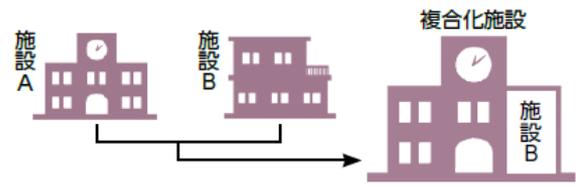
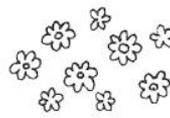


表4 個別施設の方向性

区分	施設数
維持(継続)	254
維持(複合化)	19
譲渡	27
解体	26
転用	7
建て替え	4
減築	6
保留	24

※今後の検討により方向性が定まるものは保留にしています

中期計画の具体的な取り組み



保育園

18年度に策定した市保育所民営化計画に基づき、民営化を進める。28～32年度に、みたけ、うえだ、永井保育園を民営化



市庁舎

本庁舎と都南総合支所、玉山総合事務所、保健所へ段階的に機能集約
●肴町分庁舎…国体終了後、内丸分庁舎へ統合し売却

市営住宅

市営住宅の保有量の最適化
●盛岡駅前アパート…他の団地への機能移転、建物の解体



野外施設

- ①適正配置を検討
 - 市営野球場…規模や整備手法、処分などについて検討し建て替え
 - 綱取スポーツセンター…譲渡または廃止
- ②安全性を考慮し解体
 - 旧乙部小学校の建物（運動広場の機能は継続）

体育施設

- ①利用者が限られる弓道場は、管理体制の見直しや施設の譲渡・廃止など、方向性を定める
- ②アイスアリーナのスケートリンク機能の廃止に伴い、さまざまなイベントへ利用拡大
- ③体育館の設置状況を考慮し、他の施設と統合・複合化
 - 都南体育館 → 複合化による建て替えの検討。飯岡体育館は、市場多目的ホールなどへの機能移転を検討し、建物を解体
 - 飯岡体育館
 - 乙部体育館 → 都南東部地区スポーツ施設への機能移転を検討し、建物を解体

記念館・資料館

- 重複した機能を持つ施設を集約化
- 盛岡てがみ館…展示資料を先人記念館へ移転
 - 石川啄木記念館 → 複合化
 - 玉山歴史民俗資料館 → 複合化
 - 原敬記念館 → 施設の連携を検討
 - 先人記念館 → 施設の連携を検討

小・中学校

- ①複式学級の学校（なる見込みの学校も含む）は、複式学級の解消を検討
- ②全年1学級の学校（なる見込みの学校も含む）は、適正規模の配置を検討
- ③小学校の大規模改修などに合わせ、児童館・児童センター機能の受け入れを検討
- ④見前小は、児童センターとの複合化の可能性を検討。可能な場合は見前小に児童センターを設置
- ⑤棟単位で減築が可能な学校について、減築を検討

宿泊施設

- ①民間事業者によるサービス提供が可能な分野であるため、民間譲渡などを検討
 - 都南サイクリングターミナル…隣接するつどいの森のレストハウスと一体での民間譲渡または廃止
 - 総合交流ターミナル施設（ユートランド姫神）…民間譲渡の検討
- ②適正規模を考慮し、区界高原少年自然の家の規模を縮小

高齢者・障がい者などの福祉施設

- ①下記の老人福祉センターをA型からB型へ転換*し、地域拠点施設などへ複合化
 - 愛宕山 ●太田 ●青山 ●都南

*A型は495.5平方メートル以上（風呂あり）、B型は165～495.4平方メートル（風呂なし）の施設
- ②老人福祉センターB型は、一般や子どもの利用促進を図る。近隣に地区活動センターなどがある場合は、それらの施設に機能を移転
- ③老人福祉センターと民間保育所との合築施設について、今後の在り方を検討
- ④みたけ老人福祉センターを新設
- ⑤老人憩いの家は、市民協働による維持管理を推進
- ⑥民間事業者によるサービス提供が進められている分野はその活用を検討

公民館・集会施設など

- ①32福祉推進会の区域ごとに、既存の施設を活用した地域拠点施設を確保し、機能を集約化
 - 都南勤労福祉会館 → 地域拠点施設へ転用
 - 好摩地区公民館 → 好摩児童館へ機能移転、建物の解体
 - 就業改善センターなど
 - 松園地区活動センター → 松園老人福祉センターの機能受け入れ
 - 太田地区活動センター → 太田老人福祉センターの機能受け入れ
 - 土淵地区活動センター → 老人福祉センター的機能を付加
 - つなぎ地区活動センター → 老人福祉センター的機能を付加
- 飯岡地区公民館 → 上飯岡児童センターと都南老人福祉センターの機能受け入れ
- 飯岡農業構造改善センターなど
- 仙北地区活動センター → サンライフ盛岡を減築し両施設を複合化。中央通勤労青少年ホームの機能受け入れ
- サンライフ盛岡
- 中央公民館 → 愛宕山老人福祉センターの機能受け入れ
- ②加賀野地区活動センターは規模を縮小し、建て替え
- ③安全性を考慮し、次の施設を解体
 - 川目生活改善センター ●姫神ふるさと学習センター
 - 玉山生活改善センター ●藪川生活改善センター

H27 公共施設保有最適化・長寿命化中期計画策定

1 施設用途ごとの取組

(1) 庁舎

長期計画の方向性

長寿命化を図る大規模改修など大きな経費を要する前に、庁舎を段階的に集約します。

中期計画における具体の方向性

庁舎は、市庁舎、都南総合支所、玉山総合事務所の3施設及び保健所への機能集約に取り組みます。

- ア 国体終了後の肴町分庁舎の内丸分庁舎への統合、売却
- イ 大規模改修する都南総合支所の都南歴史民俗資料館の一部及び都南地区保健センターの機能の受入れ
- ウ 若園町分庁舎にある身体障害者福祉センターの機能の地域福祉センターへの移転

対象施設	中期計画			参考
	平成28年度～30年度	平成31年度～33年度	平成34年度～37年度	平成38年度以降
市庁舎				建替え
内丸分庁舎	肴町分庁舎機能の受入れ			譲渡等 機能を市庁舎に集約
若園町分庁舎		身体障害者福祉センターの地域福祉センターへの移転		譲渡等
保健所			修繕	
愛宕町分庁舎				譲渡等 機能を市庁舎に集約
肴町分庁舎	譲渡等 内丸分庁舎に統合			
都南総合支所			大規模改修	
玉山総合事務所				大規模改修

2 地区ごとの取組

(5) 松園地区

中期計画における具体の方向性

- ① 地域拠点施設は、松園地区活動センターとします。
- ② 地域拠点施設への機能の集約化を図るため、大規模改修する松園地区活動センターの松園老人福祉センターの機能の受入れ、解体する松園老人福祉センターの敷地の駐車場への転用に取り組みます。
- ③ 老人福祉センターと合築となっている松園児童センターは、松園小学校スペースの活用があるときは、松園小学校等の大規模改修に合わせて、松園小学校への機能移転を進め、現施設は転用又は解体をします。
- ④ 松園小学校の大規模改修に合わせて、児童館・児童センターの機能の受入れを検討します。
- ⑤ 全学年が単学級となる見込みである東松園小学校は、適正規模の配置を検討します。

対象施設	中期計画			参考
	平成28年度～30年度	平成31年度～33年度	平成34年度～37年度	平成38年度以降
松園地区活動センター			松園地区活動センター・大規模改修 松園老人福祉センター機能の受入れ	
松園老人福祉センター				
松園児童センター		松園児童センター機能の受入れ		
松園小学校(校舎)			大規模改修	
松園小学校(屋内運動場)			大規模改修	
松園小学校(プール)		大規模改修		
北松園老人福祉センター				
北松園児童センター			修繕	
松園地区公民館				修繕
東松園小学校	適正規模の配置の検討			検討結果による対応

H27 市民説明会(地区説明会)

具体的な個別施設計画の策定に当たり、これまでの市の取組を説明するとともに、公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(案)の政策形成過程を市民等と共有しながら意思決定を行うことを目的として、市民説明会を開催

○平成27年11月4～28日に全10回開催

中期計画(案)の「地区ごとの取組」の当該地区部分を説明

○当日の流れ

午後6時30分～午後7時10分 公共施設保有最適化・長寿命化中期計画の説明

午後7時10分～午後8時頃 質疑

○開催結果

全10回で延365人が参加

94の質疑意見及び回答が行われた。

期日	場所	対象地区
11/ 4(水)	西部公民館(南青山町)	北・西・東厨川
11/ 5(木)	青山地区活動センター(青山三)	青山、みたけ、土淵
11/10(火)	上田公民館(上田四)	仁王、桜城、上田
11/11(水)	河南公民館(松尾町)	杜陵、大慈寺、中野、築川
11/12(木)	松園地区活動センター(西松園二)	緑が丘、松園、米内
11/18(水)	アイスアリーナ(本宮五)	仙北、本宮、太田、繫
11/19(木)	中央公民館(愛宕町)	加賀野、山岸、城南
11/25(水)	都南公民館(永井24)	見前、飯岡、乙部
11/26(木)	渋民公民館(玉山区渋民)	巻堀・姫神、好摩、渋民、玉山・藪川
11/28(土)	上田公民館(上田四)	全域



H27 市民説明会(個別説明会)

○ 個別説明会

市民と情報を共有しながら中期計画を策定するため、地域や団体の要望に応じ個別に説明会を実施

- ・平成27年12月21日(月)
午後7時から午後8時15分まで
対象者:好摩地区福祉推進会(60人)
主催者:事務局・関係各課(12人)

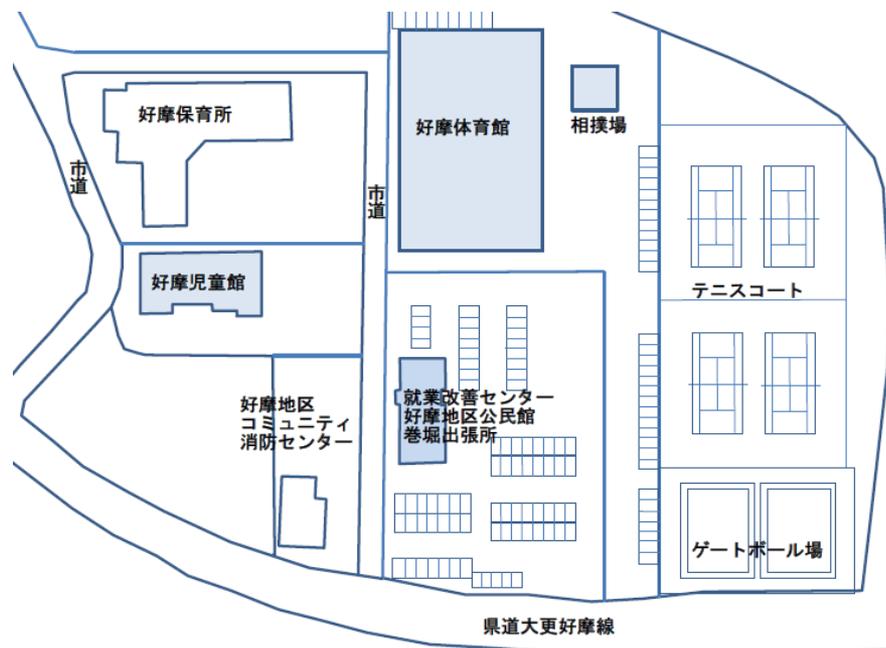


- ・平成27年12月15日(火)午後6時から
仙北地区社会教育福祉推進会(27人)
- ・平成27年12月2日(木)午後7時から
成人のつどい実行委員会(6人)
- ・平成27年12月18日(金)午前10時30分から
岩手県立大学総合政策学部生(5人)

【財政制約】新築の6割程度の費用で更新する

【当初案】好摩地区公民館・就業改善センターは、大規模改修する好摩児童館へ増築のうえ機能移転し、現建物を解体

【対 案】好摩地区公民館・就業改善センターを大規模改修し、好摩児童館(築23年)を売却



好摩児童館(築23年)



好摩地区公民館・就業改善センター(築38年)

H27 公共施設保有最適化・長寿命化実施計画策定

中期計画を円滑に推進するため、向こう3年間に実施する事業を定める計画
 (向こう3年間を計画期間とするローリング方式により毎年作成)

内容	実施計画期間計	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年次別計画等	1) 施設保有の最適化 ア 複合化 7件 イ 譲渡・解体 7件 ウ 転用 1件 エ 建替え 6件 オ 減築 3件	1) 施設保有の最適化 ア 複合化 0件 イ 譲渡・解体 0件 ウ 転用 0件 エ 建替え 6件 オ 減築 3件	1) 施設保有の最適化 ア 複合化 5件 イ 譲渡・解体 5件 ウ 転用 0件 エ 建替え 0件 オ 減築 0件	1) 施設保有の最適化 ア 複合化 2件 イ 譲渡・解体 2件 ウ 転用 1件 エ 建替え 0件 オ 減築 0件
	2) 施設数・総延床面積 ア 施設数 367施設 (7施設 減) イ 総延床面積 891,830㎡ (10,592㎡ 減) <small>実数は27年度末時点 ()は計画期間内の縮減量</small>	2) 施設数・総延床面積 ア 施設数 367施設 (0施設 減) イ 総延床面積 888,626㎡ (3,204㎡ 減)	2) 施設数・総延床面積 ア 施設数 363施設 (5施設 減) イ 総延床面積 882,791㎡ (5,835㎡ 減)	2) 施設数・総延床面積 ア 施設数 361施設 (2施設 減) イ 総延床面積 881,238㎡ (1,553㎡ 減)
	3) 長寿命化工事等 ア 修繕 5件 イ 大規模改修44件 ウ 建替え 6件 エ 解体・減築10件	3) 長寿命化工事等 ア 修繕 0件 イ 大規模改修 8件 ウ 建替え 6件 エ 解体・減築 3件	3) 長寿命化工事等 ア 修繕 0件 イ 大規模改修 25件 ウ 建替え 0件 エ 解体・減築 5件	3) 長寿命化工事等 ア 修繕 5件 イ 大規模改修 11件 ウ 建替え 0件 エ 解体・減築 2件
事業費 (千円) (構成比)	9,170,315 (100.0%)	1,806,552 (100.0%)	2,522,356 (100.0%)	4,841,407 (100.0%)

H27 公共施設保有最適化・長寿命化実施計画策定

【記載例】
 (公民館・集会施設)
 スケジュールや
 事業費を記載

中期計画における具体的 方向性(10年間)	① 市内32福祉推進会の単位で、地区活動センター、地区公民館、児童・老人福祉センターなどを利用して地域拠点施設を確保します。 ② 地域拠点施設等の整備に取り組みます。 ア 都南勤労福祉会館の永井地区における地域拠点施設への転用 イ 蕨川地区公民館の、地域拠点施設として建て替える蕨川出張所・蕨川地区公民館の合築館への移転、現建物の地域譲渡 ウ 見前南地区公民館の新設 ③ 地域拠点施設等への機能の集約化に取り組みます。 ア 大規模改修する松園地区活動センターの松園老人福祉センターの機能の受入れ イ 大規模改修する太田地区活動センターの太田老人福祉センターの機能の受入れ ウ 大規模改修する土淵地区活動センター及びつなぎ地区活動センターの老人福祉センター的機能の付加 エ 増築も含め大規模改修する飯岡地区公民館又は飯岡農業構造改善センターの上飯岡児童センター(飯岡分室を含む。)及び都南老人福祉センターの機能の受入れ オ 大規模改修する青山地区活動センターの中央通勤労青少年ホームモリーオ中央通教室の機能の受入れ カ 大規模改修する、仙北地区活動センターとサンライフ盛岡との複合化による施設での中央通勤労青少年ホームの機能の受入れ キ 中央通勤労青少年ホームの仙北地区活動センター・サンライフ盛岡への、モリーオ中央通教室機能の青山地区活動センターへの移転、解体後の跡地の売却 ク 大規模改修する中央公民館の愛宕山老人福祉センターの機能の受入れ ケ 女性センター別館の現建物の解体			
	対象施設	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	中央通勤労青少年ホーム	関係者協議	関係者協議	◆実施設計(解体)
	青山地区活動センター	基本構想策定	◆実施設計	大規模改修工事
	中央公民館	基本構想策定	◆実施設計	大規模改修工事(～平成31年度)
	女性センター別館		◆実施設計	解体工事
	サンライフ盛岡	基本構想策定		◆実施設計
	仙北地区活動センター	基本構想策定	◆実施設計	大規模改修工事
	砂子沢生活改善センター	基本構想策定	◆実施設計	大規模改修工事
	都南勤労福祉会館	基本構想検討	基本構想策定	◆実施設計
事業費(千円)	17,300	266,872	1,746,136	

R4～6 公共施設保有最適化・長寿命化実施計画

【長寿命化の取組】

内容		実施計画期間計		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
年次別計画等	長寿命化工事等			長寿命化工事等		長寿命化工事等		長寿命化工事等	
	ア 修繕	27件		ア 修繕	4件	ア 修繕	10件	ア 修繕	13件
	イ 大規模改修	28件		イ 大規模改修	12件	イ 大規模改修	10件	イ 大規模改修	6件
	ウ 建替え	5件		ウ 建替え	4件	ウ 建替え	1件	ウ 建替え	0件
	エ 解体・減築	12件		エ 解体・減築	1件	エ 解体・減築	6件	エ 解体・減築	5件
事業費 (千円) (構成比)			当初予算		中期計画策定時の計画費		中期計画策定時の計画費		
	11,307,660	(100.0%)	6,180,225	(100.0%)	2,678,873	(100.0%)	2,448,562	(100.0%)	
内訳	学校	2,357,774	(20.9%)	944,532	(15.3%)	597,385	(22.3%)	815,857	(33.3%)
	市営住宅	977,440	(8.6%)	605,240	(9.8%)	372,200	(13.9%)	0	(0.0%)
	公民館・集会施設	1,598,069	(14.1%)	1,062,647	(17.2%)	433,584	(16.2%)	101,838	(4.2%)
	高齢者・障がい者等福祉施設	341,777	(3.0%)	168,057	(2.7%)	163,083	(6.1%)	10,637	(0.4%)
	その他	6,032,600	(53.4%)	3,399,749	(55.0%)	1,112,621	(41.5%)	1,520,230	(62.1%)
建物保有面積	中期計画による増減								
	①中期計画上		②増		③減		④総面積(=①+②+③)		
	891,830.37㎡		17,073.33㎡		△23,058.72㎡		885,844.98㎡		
	(参考) ⑤中期計画によらない増減								
	中期計画策定前に、総合計画により建設が決まっていたアイスリンク、校舎及び老人福祉センター等							12,022.20㎡	

※ ①は平成26年3月31日時点、④及び⑤は令和3年3月31日時点の財産表を基に算出

【最適化の取組】

令和4年度に実施する複合化(※)に係る工事は、加賀野地区活動センター・加賀野老人福祉センター・加賀野児童センター及び太田地区活動センター・太田支所・太田老人福祉センター等です。

H28～ 計画実施

○実施計画の取組

(1) 計画期間に施設保有の最適化を行う施設

(単位:件)

最適化の種類	複合化	譲渡・解体	転用	建替え	減築	合計
実施計画	7	7	1	6	3	24

○計画期間に施設保有の最適化を行う施設一覧

複合化	譲渡・解体	転用	建替え	減築
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>仙北地区活動センター</u> ・<u>青山地区活動センター</u> ・<u>中央公民館(R3)</u> ・<u>大新小学校(R3)(校舎)</u> ・<u>内丸分庁舎</u> ・<u>見前小学校(R6)(校舎)</u> ・<u>飯岡地区公民館</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>肴町分庁舎(R3)</u> ・<u>女性センター別館(R3)</u> ・<u>藪川生活改善センター</u> ・<u>みたけ保育園(R2)</u> ・<u>旧とりよう保育園(R3)</u> ・<u>中央通勤労青少年ホーム</u> ・<u>永井保育園</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>都南勤労福祉会館</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>藪川出張所</u> ・<u>藪川地区公民館</u> ・<u>青山二丁目アパート</u> ・<u>青山三丁目アパート(R2)</u> ・<u>巻堀中学校(屋内運動場)</u> ・<u>城西中学校(屋内運動場)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>区界高原少年自然の家(作業棟)</u> ・<u>旧青山二丁目アパート</u> ・<u>旧青山三丁目アパート</u>

赤字:完了 (29年度までに) 5施設
 赤字:完了 (30年度までに) 6施設
 赤字:完了 (R1年度までに) 2施設

青字:設計・工事・手続中 (R2年度) 8施設
 黒字:未着手 3施設

H28～ 計画実施

(2) 計画期間に長寿命化工事等を行う施設

(単位:件)

工事の種類	修繕	大規模改修	建替え	解体・減築	合計
実施計画	5	44	6	10	65

○計画期間に長寿命化工事等を行う施設一覧

修繕	大規模改修			建替え	解体・減築		
<ul style="list-style-type: none"> 飯岡出張所 飯岡農業構造改善センター 飯岡地区公民館 飯岡地区保健センター 盛岡市立総合プール 	<ul style="list-style-type: none"> ・浜民運動公園総合体育館 ・区界高原少年自然の家 ・柿の木アパート ・前九年アパート ・仙北西アパート ・北厨川アパート ・黒石野中学校(プール) ・大宮中学校(プール) ・青山支所 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙北地区活動センター ・岩洞生活改善センター ・砂子沢生活改善センター ・姫神地区振興センター ・芋田地区コミュニティセンター ・農民研修センター ・青山地区活動センター ・中央公民館 	<ul style="list-style-type: none"> ・就業改善センター ・好摩地区公民館 ・山岸老人福祉センター ・青山老人福祉センター ・武道館 ・山岸児童センター ・川目アパート ・緑が丘小学校(プール) ・緑が丘小学校(屋内運動場) ・青山小学校(屋内運動場) 	<ul style="list-style-type: none"> ・厨川中学校(屋内運動場) ・城西中学校(校舎) ・大新小学校(校舎) ・仁王小学校(校舎) ・見前小学校(プール) ・巻堀出張所 ・サンライフ盛岡会館 ・都南勤労福祉会館 ・子ども科学館 ・法領田アパート 	<ul style="list-style-type: none"> ・見前小学校(屋内運動場) ・城南小学校(屋内運動場) ・城東中学校(屋内運動場) ・大宮中学校(屋内運動場) ・見前小学校(校舎) ・北陵中学校(校舎) ・中野小学校(プール) 	<ul style="list-style-type: none"> ・藪川出張所 ・藪川地区公民館 ・青山二丁目アパート ・青山三丁目アパート ・巻堀中学校(屋内運動場) ・城西中学校(屋内運動場) 	<ul style="list-style-type: none"> ・肴町分庁舎 ・旧女性センター別館 ・藪川生活改善センター ・旧みたけ保育園 ・旧とりよう保育園 ・旧中央通勤労青少年ホーム ・永井保育園 ・区界高原少年自然の家(作業棟) ・旧青山二丁目アパート ・旧青山三丁目アパート

赤字:完了 (29年度までに) 10施設
赤字:完了 (R1年度までに) 4施設
青字:設計・工事中 (R2年度) 23施設
赤字:完了 (30年度までに) 15施設
黒字:未着手 13施設

H29 工事完成(大規模改修等)

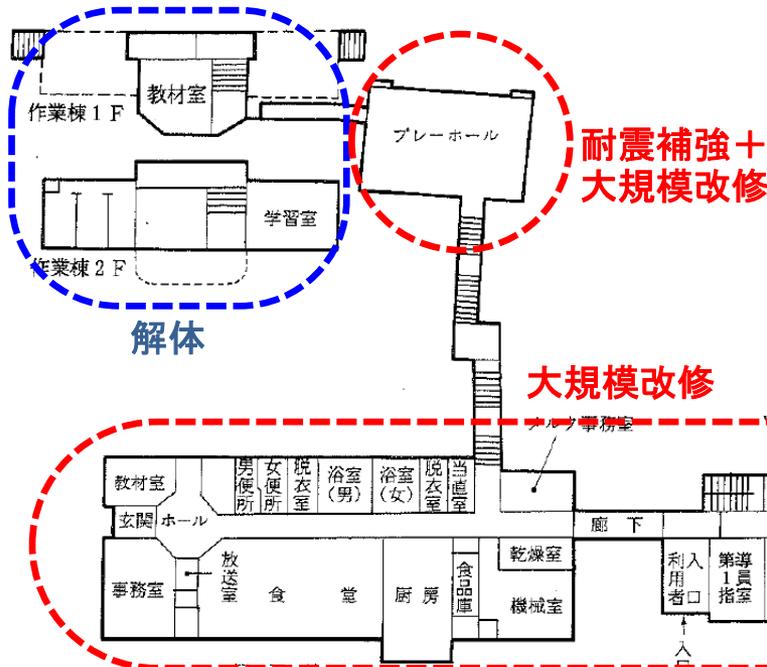
○大規模改修例

・区界高原少年自然の家

昭和50年建設(築41年)

RC造(一部鉄骨造)、延床1,910.09㎡

29年度に「大規模改修工事」
「プレイホール耐震補強工事」
「作業棟解体工事」を実施



実録! ビフォー・アフター

大規模改修!

昨年度に大規模改修工事をした区界高原少年自然の家は4月からリニューアルオープンしています。

区界高原少年自然の家
藤澤達所長

宿泊する子どもたちが快適に過ごせるよう改修しました。トイレは簡易水洗から水洗に変わり、暖房便座とウォシュレット付きになりました。また、寒さを防ぐ二重サッシの設置のほか、照明は全館LEDとなり暖かく明るい施設となりました。きれいになった自然の家で子どもたちを待っています!

before ZOOM UP! after
特に屋根の傷みがひどかった

before after
トイレだってピッカピカに! 多目的トイレもできました

広報もりおか 平成30年5月1日号(一部加工)

【総事業費】4億7,512万円
 設計 2,320万円
 建築主体工事 2億2,321万円
 電気設備工事 6,671万円
 機械設備工事 1億6,200万円

H30 工事完成(大規模改修等)



武道館



厨川中学校(屋内運動場)



山岸児童センター・山岸老人福祉センター



仙北地区活動センター



R1 工事完成(大規模改修等)



中央公民館・愛宕山老人福祉センター

R2 個別施設計画策定後の課題

1. 合意形成の課題

集約予定施設の存続や、大規模改修ではエレベーター設置などの要望があり、当初に改修財源として見込んでいる施設運営費等の節減につながらないケースも。

↳ マネジメントの考え方を継続して周知(マンガ作成、広報特集等)



2. 財源の課題

基金と公共施設等適正管理推進事業債を活用し事業を推進。

しかし、事業債はR3年度まで。R4年度以降の財源確保の見通しが立たずに基本設計に着手できない状況が発生。事業費の精査とR4年度以降の財源確保が急務。

↳ 計画推進のために「もりおかPPPプラットフォーム」を設置。大規模改修方法に関するサウンディング型市場調査や、民間提案制度の構築などにより、官民連携手法を用いた効率的・効果的な事業実施を推進

3. マンパワーの課題

大規模改修等の工事が本格化し、建築技師の抱える業務量が増大。

↳ 人員増のほか、設計施工一括発注や性能発注等による民間活力を活用した事業の推進方法をモデル実施。

官民連携に関する取組

Ⅲ 官民連携に関する取組状況

<p>16～18 19～21 年度</p>	<p>第一次盛岡市行財政構造改革の方針及び実施計画 第二次盛岡市行財政構造改革の方針及び実施計画</p> <p>「民間でできることは民間に委ねる」ことを原則に、積極的に公共サービスの民間開放を進める。官と民との役割分担，責任確保策，効率性，サービス水準検証により質の高い公共サービスへの転換を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">・公の施設へ指定管理者制度を導入・家庭系可燃ごみ収集業務の民間委託・PFI制度を積極的に導入
<p>22～24 25～27 年度</p>	<p>第一次盛岡市自治体経営の指針及び実施計画 第二次盛岡市自治体経営の指針及び実施計画</p> <p>「多様な主体が参画するまちづくり」を経営の指針の一つに位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き民間委託，指定管理者制度等の活用に取り組む <p>全庁的な視点のもとに公共施設の維持管理の更なる効率化，老朽化した施設の更新費用の低減・平準化を進める。</p> <ul style="list-style-type: none">・「公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針」等の策定により，公共施設アセットマネジメントを推進
<p>27年度</p>	<p>「経済財政運営と改革の基本方針2015」閣議決定</p> <p>人口20万人以上の地方公共団体等に対し，一定規模以上の事業に対し，PFI手法導入を優先的に検討する仕組みの構築を要請</p>

Ⅲ 官民連携に関する取組状況

28年度	内閣府地域プラットフォーム形成支援の採択・実施 盛岡市官民連携プラットフォームセミナーを4回開催
	PPP/PFI手法導入優先的検討規程の策定 「官民連携事業の取組方針」を策定し、対象事業(建設10億円, 運営1億円以上)やプロセス・体制等を定める
29年度	もりおかPPPプラットフォーム設置 地域企業、金融機関、自治体等が集まり、案件形成を目指した取組を開始 コメンター: 岩手銀行, 東北銀行, 北日本銀行, 盛岡信用金庫, 盛岡商工会議所, 市建設業協同組合
	もりおかPPPプラットフォーム設置記念フォーラム等開催 約200人参加(これを第1回とし年3回のプラットフォームを開催。延416人参加)
	大規模改修方法等のサウンディング型市場調査開始 サンライフ盛岡をはじめとし、事業者との個別対話を開始→翌年度プロポーザルへ
30年度	PPP/PFI民間提案等ガイドブック(民間提案制度)の策定 民間発案(アイデア提案)と民間提案(PFI実施方針提案)の仕組みを構築 PPPロングリスト公表 (工事方法, 民営化, PFI, 有効活用の対象施設公表)【31年度～】
	もりおかPPPプラットフォームの開催【31年度～】 昨年度に引き続きプラットフォームを年3回開催

官民連携に関する運用制度の概要

官民連携事業（PPP）の取組方針（29年3月）

・盛岡市のPPPに関する基本的な考え方

PPPロングリスト・ショートリスト（30年4月）

・PPPの候補事業一覧

PPP/PFI民間提案等ガイドブック（30年4月）

・民間提案等の受付、審査等の対応手続に関するガイド

PPP/PFIガイドブック（旧「盛岡市PFI導入基本方針」）

・PFIの業務や手続に関するガイド

指定管理者制度導入の基本的考え方と運用の手引き

・指定管理者制度の業務や手続に関するガイド

各事務・事業に関する民営化・民間委託等の方針等

PPP/PFI手法の検討対象（**総額10億円以上の整備、単年度1億円以上の運営**）、検討プロセス、体制等を定める。

※他のガイドブック等の体系を整理

民間事業者の創意工夫やノウハウを活かした民間提案及び民間発案を積極的に受け付ける体制を整備し、PPPの取組を推進。

出典 官民連携事業（PPP）の取組方針（平成29年3月）

[トップページ](#) > [市政情報](#) > [盛岡市の自治体経営](#) > [公共部門の民間開放](#) > [PPP/PFIの推進](#) > PPP/PFIの推進

官民連携に関する運用制度の方針等

■ 官民連携事業の取組方針

旧「盛岡市民間活力導入ガイドライン」を大幅に見直し、平成29年3月に策定した。

PFIをはじめとしたPPPに取り組む上での基本的な考え方を取りまとめた。

[内容]

- 対象施設・対象事業
- 事業適用の検討プロセス
- 推進体制
- 事業者の募集・選定の考え方
- PPPロング・ショートリストの作成
- PFI法に基づく民間提案等への対応
- 地域プラットフォームの活用

官民連携に関する運用制度の方針等

■ PPP/PFI民間提案等ガイドブック（平成30年3月策定）

PFI法に基づく民間提案と任意の民間発案の受付，審査等の対応手順を定めるほか，PPPの候補事業一覧をロングリスト，ショートリストとして公表することを取りまとめた。

■ PPP/PFIガイドブック

旧「盛岡市PFI導入基本方針」を見直し平成17年7月に策定，平成29年3月に改訂した。

PFIの制度概要，導入手続き，実施プロセス，推進体制等に関するガイド

■ 指定管理者制度導入の基本的な考え方と運用の手引き

旧「公の施設の指定管理者制度導入に関する基本的な考え方」を見直し平成27年3月に策定，平成31年4月改訂

指定管理者制度の概要，指定手続き，制度運用等に関するガイド

PPP (Public Private Partnership)

公共施設等の建設、維持管理、運営等を**行政と民間が連携**して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的な使用や行政の効率化等を図るもの。

PFI (Private Finance Initiative)

PFI法に基づき、公共施設等の建設、維持管理、運営等を**民間の資金**、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

公共施設等運営権制度を活用したPFI事業
(コンセッション事業)

収益施設の併設・活用など事業収入で
費用を回収するPFI事業
(収益型PFI事業)

公共が支払う
サービス購入料で費用を
回収するPFI事業
(サービス購入型PFI事業)

指定管理者制度

包括的民間委託

公的不動産利活用事業

PFI事業の種別

事業方式		資金 調達	建設	維持 管理	運営	施設 所有
①従来方式		市	市	市	民間 (委託)	市
②DB方式 =設計・建設 (Design・Build)		市	民間	市	民間 (委託)	市
③DBO方式 =設計・建設・運営 (Design・Build・Operate)		市	民間	民間	民間	市
PFI	④ BTO 維持管理型 =建設・移転・運営 (Build・Transfer・Operate)	民間		民間 (委託)	市	
	⑤ BTO	民間				市
	⑥ BOT, BOO =建設・運営・移転 (Build・Operate・Transfer) =建設・所有・運営 (Build・Own・Operate)	民間				
⑦リース方式		民間		民間 (委託)	民間	市

※ 盛岡市の実績 盛岡市火葬場整備事業 DBO方式で平成24年度供用開始

指定管理者制度運用の概要

■ 導入の経緯

地方自治法改正に伴い、平成18年度より公の施設の管理に「指定管理者制度」を導入、多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するため。民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減を図ることとした。

■ 制度の運用状況

- 導入施設数 230施設（公の施設794施設のうち）
 - ・ 公募 111施設
 - ・ 非公募 119施設
- 利用料金制度の導入 56施設
- 指定団体
 - ・ 第三セクター 7団体
 - ・ 公共的団体 51団体（町内会・自治会）
 - ・ 民間企業 6団体
 - ・ NPO法人 7団体
 - ・ 任意団体 3団体（管理運営グループを構成）
 - ・ その他 5団体（まちづくり協議会、地域体育振興会など）
- 指定期間 新規指定3年、再指定5年を原則とする。

指定管理者制度運用の概要

■ 運用状況の評価等

- マネジメントサイクルの視点で設置者，指定管理者，第三者の3層の評価実施
- 毎年の履行状況確認（モニタリング）
- 指定期間中の総括評価
- 第三者評価
- 指定管理者連絡会議による，情報の共有や雇用労働条件の確認と，法制度等の遵守に関する啓発の実施

■ 制度導入の効果

- 利用者ガイドブック，通信誌の発行
- 利用者アンケート結果を業務に反映
- 運営委員会に外部委員の参加
- 施設の無料開放実施
- 施設職員の接遇研修
- 利用手続きの簡素化
- 利用時間や範囲を創意工夫し条例改正に反映

H28 内閣府 地域プラットフォーム形成支援

プラットフォームを形成するための内閣府支援 (全国6番目:東北初)

○盛岡市官民連携プラットフォームセミナーを4回開催

- 第1回 PPP/PFIの基礎的知識の習得
- 第2回 民間提案制度の事例紹介
- 第3回 地域企業の参画方法
- 第4回 地場企業及び大手企業による事例報告



	第1回	第2回	第3回	第4回
日程	H28.11.29	H28.12.21	H29.1.17	H29.2.17
会場	盛岡市総合福祉センター 講堂	盛岡市総合福祉センター 講堂	盛岡市総合福祉センター 講堂	(株)岩手銀行本店 9階大会議室
内容	①講演 (内閣府、盛岡市、(株)日本政策投資銀行) ②名刺交換会	①講演 (株)日本経済研究所 ②意見交換会	①講演 (株)日本経済研究所 ②意見交換会	①講演(平田建築設計 (株)、(株)鹿島建設) ②報告((株)日本経済研究所、盛岡市)
参加者	地域企業、地域金融機関等を中心に約90名	地域企業、地域金融機関等を中心に約50名	地域企業、地域金融機関等を中心に約30名	地域企業、地域金融機関等を中心に約70名

H29 もりおかPPPプラットフォーム設置

持続可能なまちづくりの実現

公共施設マネジメントの推進

民間が主役の「稼げる」まちづくり

財政負担軽減を図りつつ、施設保有の最適化、長寿命化を計画的に推進

事業案件の形成

新たな事業機会の創出

クローズ(コンソーシアムの組成)

- PPP/PFIプラットフォームの役割
- ・ 公民連携事業に関するノウハウを深める場
- ・ PPP/PFIネットワークを構築する場
- ・ PPP/PFIを担う人材・仕組みを育成する場
- ・ ビジョンを共有する場
- ・ ビジョン実現に取り組む場
- ・ プロジェクト創出・推進の場
- ・ 事業パートナー選定の場

事業化へ

事業案件の形成に向けた検討・準備の場

オープンな場
(地域プラットフォーム)

普及啓発

ノウハウ
習得

サウン
ディング

官民対話

情報共有

意見交換

ネット
ワーク

もりおかPPPプラットフォーム

設置主体:盛岡市

コアメンバー:岩手銀行, 東北銀行, 北日本銀行, 盛岡信用金庫, 盛岡商工会議所, 盛岡市建設業協同組合

産学官金

コアメンバーの役割

もりおかPPPプラットフォームが、参加者にとって意義あるものとなるよう、市とともに事業の企画立案及び諸調整を行う。

盛岡市公共施設等総合管理計画

建築物系施設

都市基盤系等施設

盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化計画(長期計画・中期計画・実施計画)

個別施設計画

- H28~H37の10年間で、計271施設の長寿命化工事を実施(総事業費約542億円)
- 最適化・・・個別施設の方向性を定め、施設の複合化、譲渡、解体、転用、減築等による施設保有量の総量縮減
- 長寿命化・・・耐用年数80年を目指し、長寿命化工事を実施(築後概ね20年・60年で修繕, 40年で大規模改修)

- 道路・橋りょう, 河川, 公園, 上水道, 下水道, 病院, 市場等

H29 もりおかPPPプラットフォーム開催内容

もりおかPPPプラットフォーム 設置記念フォーラム開催	平成29年7月14日（金）	盛岡市民文化ホール	約200人
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基調講演：「(仮)PPP/PFIの推進について-地元事業者の参画方法-」 内閣府民間資金等活用事業推進室 参事官 坂本 慶介 氏 2. 事例報告：「地場企業によるPFI事業への参画」 橋建設(株) 代表取締役 橋 富雄 氏（紫波町新庁舎整備事業代表企業） 3. 報 告：「もりおかPPPプラットフォームの今後の取組について」盛岡市資産経営課 			
第2回もりおかPPPプラットフォーム ～公共施設保有最適化・長寿命化計画の大規模改修における民間提案を考える～	平成29年10月31日（火）	仙北地区活動センター	約100人
<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例紹介：「区界高原少年自然の家における大規模改修工事の現状」（平成29年度事業） 2. ワークショップ：「サンライフ盛岡の大規模改修に伴う創意工夫について」現地見学，ワークショップ（工事の工夫，管理運営の工夫等） 3. 報 告 等：「今年度の官民連携に関する事業の取組状況報告（バスセンター，動物公園など）」 「サンライフ盛岡の大規模改修に関するサウンディング調査の実施について」 			
第3回もりおかPPPプラットフォーム ～民間提案制度の活用方法を考える～	平成30年3月29日（木）	プラザおでって	約100人
<ol style="list-style-type: none"> 1. 報 告：「盛岡市における民間提案制度について」資産経営課 民間提案制度の概要説明，ロングリスト・ショートリスト説明，提案手続き説明 2. 事例報告：「(仮)民間ノウハウを活用した官民連携事業の事例紹介 -地域企業が参画している事業を中心に-」日本政策投資銀行 地域企画部 PPP/PFI推進センター 川上 圭史 氏 			

H30 もりおかPPPプラットフォーム開催内容

第1回もりおかPPPプラットフォーム ～市有施設のトイレ洋式化を考える～	平成30年7月26日（木）	盛岡市総合福祉センター	約90人
<p>1. 事業報告（仮称）新盛岡バスセンター整備事業の基本方針(案)について 市街地整備課 盛岡市動物公園公民連携事業について 公園みどり課 砂子沢生活改善センター整備に係るサウンディング型市場調査について 農政課 PPP／PFI民間提案等ガイドブックの策定について 資産経営課</p> <p>2. 官民対話 「市有施設のトイレ洋式化の現状について」資産経営課 意見交換・まとめ</p>			
第2回もりおかPPPプラットフォーム ～道の駅整備による地域活性化～	平成30年11月27日（火）	盛岡市勤労福祉会館	約150人
<p>1. 基調講演 「道の駅は第2・第3ステージに 『ブルーオーシャン戦術のススメ』」 道の駅「萩しーまーと」相談役（前駅長） 中澤さかな氏</p> <p>2. 事業構想説明 「盛岡市『道の駅』整備計画の概要について」 玉山総合事務所</p> <p>3. パネルディスカッション「道の駅をどのような場にできるか。道の駅でどのような活動が考えられるか。」 中澤さかな氏×山本早苗氏×熊谷俊彦</p>			
第3回もりおかPPPプラットフォーム ～公的不動産の有効活用による 地域活性化事業創出～	平成31年2月18日（月）	プラザおでって	約90人
<p>1. 公的不動産の有効活用に関する全国の取組状況＞ 「みんなの廃校プロジェクトー廃校施設の有効活用(企業活用編)ー」資産経営課</p> <p>2. 事例報告 大館市の空き公共施設等の利活用促進の取組 ア「(仮)大館市空き公共施設等の利活用促進について」秋田県大館市管財課 イ「(仮)旧雪沢小学校におけるドローン製作所・講習所の活用について」 東光鉄工株式会社 代表取締役会長兼社長 虻川東雄 氏</p> <p>3. 盛岡市における有効活用が期待される公的不動産及び活用の留意点 資産経営課, 都市計画課</p>			

R1 もりおかPPPプラットフォーム開催内容

第1回もりおかPPPプラットフォーム ～公的不動産の売却と活用方法を検討する～	令和元年5月20日（月）	盛岡市勤労福祉会館	約60人
<p>1. 説明 盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化実施計画(H31～H33)について 民間提案制度PPPロングリスト・ショートリストについて 資産経営課</p> <p>2. 現地見学 肴町分庁舎, (旧)女性センター別館, (旧)とりょう保育園 管財課, 子育てあんしん課 (旧)中央通勤労青少年ホーム 経済企画課 (旧)みたけ保育園 市民協働推進課, 子育てあんしん課</p>			
第2回もりおかPPPプラットフォーム ～参加者の提案が事業化につながる～	令和元年11月22日（金）	就業改善センター	約30人
<p>1. ワークショップ「就業改善センターのホールを確保するための整備手法」について 資産経営課・産業振興課</p> <p>「サウンディングをさらに盛り上げるために」 資産経営課</p>			
第3回もりおかPPPプラットフォーム ～Park-PFIによる都市公園を起点としたエリアの活性化～	令和2年1月24日（金）	プラザおでって	約100人
<p>1. 基調講演 「大阪城パークマネジメントの取り組みについて」～イベントについて～ 大阪城パークマネジメント共同事業体 大和リース株式会社 環境緑化事業部 上席主任 兵頭 勲 氏</p> <p>2. 事業概要説明 「公民連携で目指す持続可能で魅力的な場づくり」 都市整備部 部長 高濱 康亘</p>			

H30 PPPロングリスト(ショートリスト)

- ① 工事方法 ……効果的な工事方法の提案等
- ② 民営化 ……民間譲渡や運営者としての提案等
- ③ PFI ……民間活力の導入可能性の提案等
- ④ 有効活用策……未利用資産の売却・貸付の提案等
- ⑤ その他 ……その他の提案

■ PPPロングリスト(主にアイデアを求めるもの)

※ショートリストは今年度は該当なし

1. 盛岡市総合計画実施計画

No.	事業名(施設名)	担当部署	総合計画実施計画(H30-32)(抜粋)				提案を期待する内容								
			総合計画[実施計画]の内容	平成30年度～32年度に実施する主要事業	30年度の取組内容	31年度の取組内容	32年度の取組内容	工事方法	民営化	PFI	有効活用策	その他	備考		
1	都南東部体育館(仮称)整備事業	スポーツ推進課	市民ニーズに対応した新たな施設の整備や老朽化やユニバーサルデザインに対応する改修など、アセットマネジメントの考え方を踏まえながら、適切なスポーツ施設の配置及び整備・改修を行います。	都南東部地区に、地域特性に配慮したスポーツ・レクリエーション施設として体育館を整備します。	地元協議、用地交渉	測量、不動産鑑定評価など	用地取得、地質調査、土木設計など	○							

2. 公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(用途別)

No.	施設名	担当部署	中期計画(H28-37)(抜粋)			前年度の取組結果	実施計画(H30-32)(抜粋)			提案を期待する内容						
			計画内容	28～30年度	31～33年度		34～37年度	30年度の取組内容	31年度の取組内容	32年度の取組内容	工事方法	民営化	PFI	有効活用策	その他	備考
1	小・中学校	教育委員会総務課	大規模改修	大規模改修方法の検討			—				○					
2	市営住宅	建築住宅課	大規模改修市営住宅の保有量の最適化	大規模改修方法の検討保有量の最適化の検討			—				○					
3	保育園	子育てあんしん課	保育所の民営化	民営化			—					○				

3. 公共施設保有最適化・長寿命化中期計画(施設別)

No.	施設名	担当部署	中期計画(H28-37)(抜粋)			前年度の取組結果	実施計画(H30-32)(抜粋)			提案を期待する内容						
			計画内容	28～30年度	31～33年度		34～37年度	30年度の取組内容	31年度の取組内容	32年度の取組内容	工事方法	民営化	PFI	有効活用策	その他	備考
1	肴町分庁舎	管財課	国体終了後の肴町分庁舎の内丸分庁舎等への統合、売却	譲渡等 内丸分庁舎に統合			—	方針に沿って措置	方針に沿って措置	解体工事				○	○	譲渡・解体等の方法
2	都南総合支所	都南総合支所	大規模改修する都南総合支所の都南歴史民俗資料館の一部及び都南地区保健センターの機能の受入れ	大規模改修			—				○					

H31 PPP/PFI民間提案等ガイドブック(民間提案制度)

■総合計画，公共施設等総合管理計画の個別施設計画(公共施設保有最適化・長寿命化計画(アセット計画)等)に掲載される公共施設等の整備等を伴う事業を対象に，**工事方法，民営化，PFI，有効活用策等**の提案を募集。

区分	民間発案 (主にアイデアを求めるもの)	民間提案 (主にPFI法に基づくもの)
受付対象事業	PPPロングリスト掲載の公共サービス事業 <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画実施計画 (H31-33) ・アセット実施計画 (H31-33) ・アセット中期計画 (～H37) 	PPPショートリスト掲載の公共サービス事業 ※予算化された事業 <ul style="list-style-type: none"> ・アセット実施計画 (H31) (・総合計画 (H31))
受付提案内容	PPP事業化に向けたアイデアの提案 (実施方法，事業計画，民間ノウハウ等)	・PFI事業の実施方針案の提案等 (ただし，既に実施方針が公表された事業に係る提案は対象外)
募集開始	PPPロングリスト公表時(毎年度当初)より提案を受付	PPPショートリスト公表時(毎年度当初)より提案を受付
提案受付期限	PPPショートリスト掲載前まで 通年(年度末まで随時) ※次年度予算化するものは6月頃まで	PFI事業の基本計画策定時まで 6月末まで

H27～ PPP/PFI事業一覧

対象事業	取組状況
盛岡学校給食センター建設事業	H28:PFI導入可能性調査 H29:PFI手法(BTO方式)により整備する方針決定 H30:実施方針案・要求水準書案の検討 R1:実施方針案・要求水準書案策定・公表, 特定事業の選定・公表 事業者の募集 R2:事業者の選定, 特定事業契約締結, 設計開始(予定) R3:設計, 建設工事着手(予定) R4:建設～竣工(予定) R5:供用開始(予定)
(仮称)新盛岡バスセンター整備事業	H29:公民連携事業導入可能性調査 H30:基本方針策定, 代理人基本協定締結, (仮称)新盛岡バスセンター整備 による中心市街地活性化のための調査, 整備に関する調査 R1:整備基本計画策定, 代理人本協定締結, 民間活力誘導業務等 R2:整備事業計画策定, 全体協定締結(市・MCC・SPC), 設計・工事着手(予定) R3:竣工・供用開始(予定) ※MCC:(株)盛岡地域交流センター(市の代理人)
盛岡市動物公園再生活性化事業	H27:民間活力導入可能性調査 H28:公民連携導入可能性調査 H29～30:国土交通省官民連携基盤整備推進調査費「岩山南公園を活用した 観光振興及び地域活性化のための基盤整備調査」 R1:代理人会社設立, 代理人協定, 基本設計 R2:SPC設立, 債務負担行為, 事業者選定, 建設工事着手(予定)

(注)令和2年度以降の予定は、現段階のものであり、変更となる場合があります。

対象事業	取組状況
盛岡南公園野球場整備事業	<p>H29: 民間活力導入可能性調査結果報告 平成28年度民間資金等活用事業調査費補助事業 「盛岡南公園野球場(仮称)整備事業民間活力導入可能性調査」</p> <p>H30: アドバイザリー契約(実施方針, 業務要求水準書(案)作成等支援), 連携協約・事務委託議案提案, 整備基本計画(案)作成, 実施方針公表, 業務要求水準書(案)公表</p> <p>R1: 特定事業選定公表, アドバイザリー契約(事業者選定支援等), 募集要項公表, 事業者提案受付・選定, 事業者基本契約・事業契約</p> <p>R2: アドバイザリー契約(設計支援等), 基本設計, 実施設計(予定)</p> <p>R3~R4: 建設工事(予定)</p> <p>R5: 供用開始(予定)</p>
木伏緑地公衆用トイレ整備事業 (Park-PFI)	<p>トイレ整備と合わせた公園施設(飲食店等)の設置及び管理運営</p> <p>H30: プロポーザル実施・基本協定締結</p> <p>R1: 供用開始</p>
サンライフ盛岡大規模改修事業	<p>H29: サウンディング型市場調査 「サンライフ盛岡の大規模改修の実施に向けたサウンディング型市場調査」</p> <p>H30~R1: 設計施工者一括選定方式により実施</p>
砂子沢生活改善センター建替検討	<p>H30: サウンディング型市場調査 改修費用の増大が見込まれるため改修新築を比較検討</p> <p>R2: 設計施工公募型プロポーザル, 実施設計(移転新築・解体)等(予定)</p> <p>R3: 移転新築工事・解体工事(予定)</p>

(注) 令和2年度以降の予定は, 現段階のものであり, 変更となる場合があります。

対象事業	取組状況
道の駅整備事業	H28～29:基本計画(案)策定 H30:PPPプラットフォーム開催, サウンディング型市場調査, 内閣府PPPプラットフォーム支援事業による事業化支援, 基本計画策定 R1:運営候補者公募・選定, 特産品開発着手 R2:基本設計 R3～4:実施設計, 整備工事等(予定) R5:供用開始(予定)
啄木記念館・歴史民俗資料館整備事業	H29:基本計画(案)策定 R1～2:基本計画改定, 基本設計(予定) R3:実施設計(予定) R4～5:大規模改修・増築工事(予定) R6:供用開始(予定)
盛岡城跡公園芝生広場整備事業 (Park-PFI)	H30:マーケットサウンディング・プロポーザル実施・基本協定締結 R1:実施協定締結 R2:設計等の見直し検討 R3:実施設計, 整備工事等(予定) R4:供用開始(予定)
中央公園整備事業 (Park-PFI)	H30:マーケットサウンディング・プロポーザル実施・基本協定締結 R1:実施協定締結 R2:保育所供用開始, 設計の見直し(収益, 公園施設)・整備工事等(予定) R3:供用開始(予定)

(注)令和2年度以降の予定は, 現段階のものであり, 変更となる場合があります。

H29～ サウンディング型市場調査(個別対話)

1. サンライフ盛岡の大規模改修の実施に向けたサウンディング型市場調査(H29)
2. (仮称)新盛岡バスセンター整備事業の実施に向けたサウンディング型市場調査(H29)
3. 盛岡市砂子沢生活改善センターの改築に向けたサウンディング型市場調査(H30)
4. 中央公園整備事業の実施に向けたサウンディング型市場調査(H30)
5. 盛岡城跡公園芝生広場整備事業の実施に向けたサウンディング型市場調査(H30)
6. 盛岡市立小学校, 中学校及び幼稚園空調設備整備事業の実施に向けたサウンディング型市場調査(H30)
7. 道の駅設置事業実施に向けたサウンディング型市場調査(H30)
8. 盛岡市立図書館の大規模改修の実施に向けたサウンディング型市場調査(H30)
9. (仮称)道の駅もりおか運営候補者の募集に係るサウンディング型市場調査(R1)
10. 旧漆芸美術館再生事業の実施に向けたマーケットサウンディング調査実施(R1)

H29～ サウンディング型市場調査(個別対話)

11. 盛岡市立愛宕山老人福祉センターの活用方法の検討に向けたサウンディング型市場調査(R1)
12. (旧)みたけ保育園敷地を活用した青山地区活動センター等利用者用駐車場整備に向けたサウンディング市場調査(R1)
13. 「上飯岡児童センター飯岡分室」の活用方法の検討に向けたサウンディング市場調査(R1)
14. 肴町分庁舎・(旧)女性センター別館・(旧)とりょう保育園の建物付き市有地売却方法の検討に向けたサウンディング市場調査 (R1)
15. 社会教育施設(公民館)の整備手法検討のためのサウンディング型市場調査(R1)
((仮称)南部公民館整備事業【東北ブロックプラットフォーム】)においても実施
16. 紺屋町番屋の利活用に係るサウンディング型市場調査の実施について(R2)

【事例1】サンライフ盛岡の大規模改修に関する サウンディング型市場調査(個別対話)の実施

民間事業者のノウハウを最大限生かした効率的かつ効果的な工法等を目指し、工事内容をはじめとし性能発注や設計施工一括発注など様々な発注方法を検討するため、サウンディング型市場調査を実施。



＜サウンディング事項＞

- ア 効率的かつ効果的な工事手法(屋根, 外壁, 配管更新等)
- イ 個別空調や一括管理など最適な空調機器の使用に対する考え
- ウ 性能発注や設計施工一括発注などの発注方法に対する考え
- エ 現在未利用スペースとなっている箇所の活用方法に対する考え
- オ 大規模改修に併せて実施しておくべき工事
- カ 上記ア～オに対する概算見積金額(全体のボリューム感を口頭確認)
- キ 工事期間の短縮等利用者への影響を最小限にするための考え
- ク 工事後の維持管理も含めた改修効果を最大限にするための考え
- ケ その他(その他の創意工夫や、市への要望等)

取組	日程
調査開始周知	平成29年11月1日
エントリー	11月1～7日
現地見学会	11月13日
個別対話	11月15～21日
結果の公表	12月

サウンディングの結果、設計・施工事業者一括選定方式を用いた性能発注による大規模改修の実施へ(H30プロポーザル→契約)

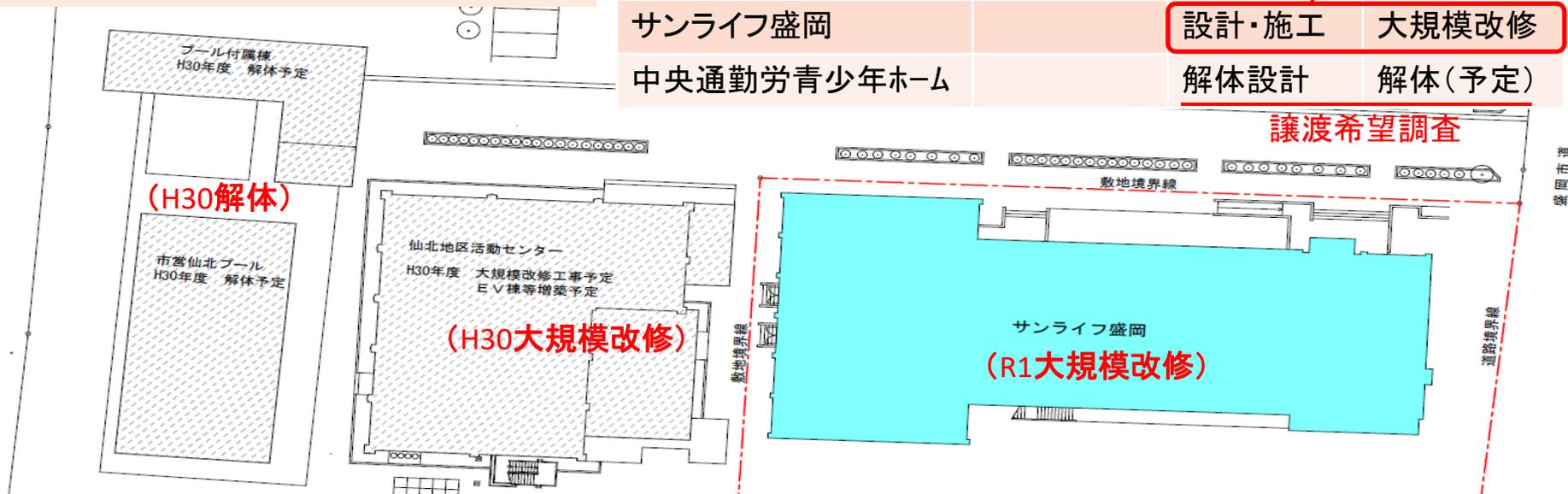


【事例1】サンライフ盛岡等の工事の現状

設計施工者一括選定

【中期計画】大規模改修する仙北地区活動センターとサンライフ盛岡との複合化による施設での中央通勤労青少年ホームの機能の受入れに取り組みます。

【実施計画】	H29	H30	H31(R1)
仙北地区活動センター	実施設計	大規模改修	
市営仙北プール	解体設計	解体	
サンライフ盛岡		設計・施工	大規模改修
中央通勤労青少年ホーム		解体設計	解体(予定)



【事例2】木伏緑地公衆用トイレ整備事業 (Park-PFI)



【事例3】動物公園再生活性化事業

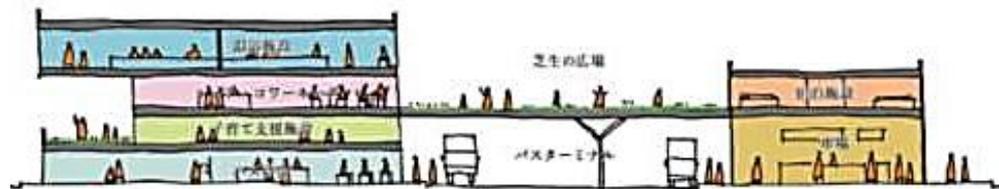


	2021年 市負担 1.86億円	2022年 市負担 1.86億円	2035年 市負担 1.86億円
現状運営費 2.6億円 運営費 2.6億円 指定管理料等 2.6億円 歳出額から 入園料等を 減じた費用	1.0億円	1.0億円	1.0億円
施設修繕 (補助外) 7.0億円 施設修繕 費 13.0億円 施設整備 (補助対象) 3.0億円 施設整備 (補助対象) 3.0億円 【国費】	※1 0.46億円	※1 0.46億円	※1 0.46億円
	※2 0.2億円	※2 0.2億円	※2 0.2億円
	※3 0.2億円	※3 0.2億円	※3 0.2億円

※1：7億円/15年=0.46億円
 ※2：3億円/15年=0.2億円
 ※3：金融機関からの借入に係るスプレッド金利

出典 盛岡市「盛岡市動物公園再生事業計画」（2019）

【事例4】バスセンター再整備



出典 盛岡市「(仮称)新盛岡バスセンター整備基本計画」(案)(2019)

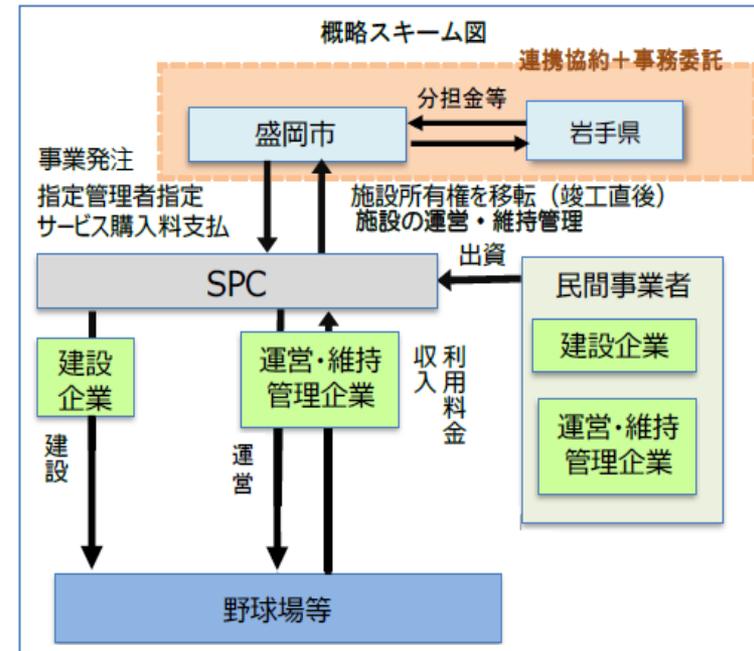
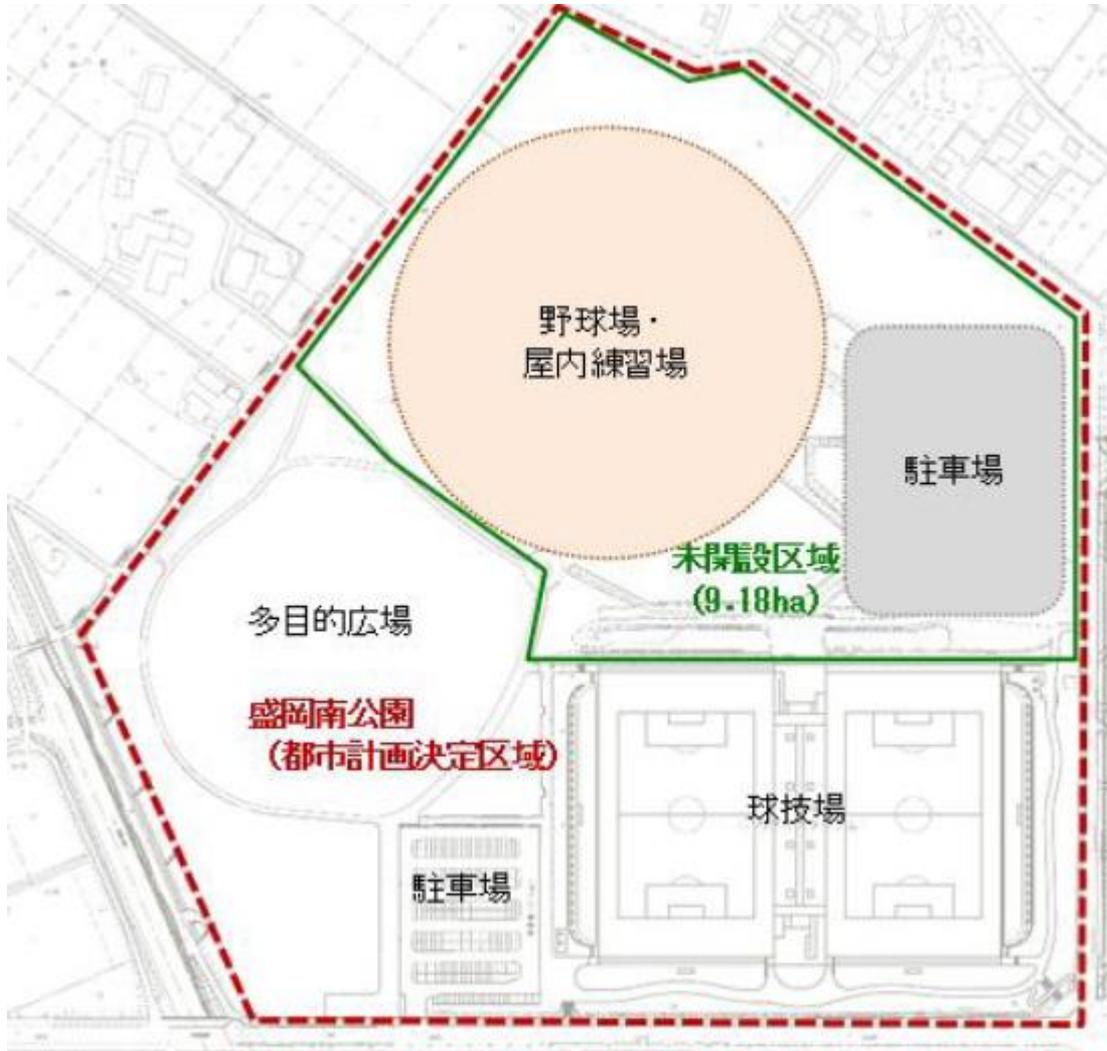
出典 盛岡市「(仮称)新盛岡バスセンター整備事業基本方針～資料編～」(2018)

【事例5】県市共同整備野球場



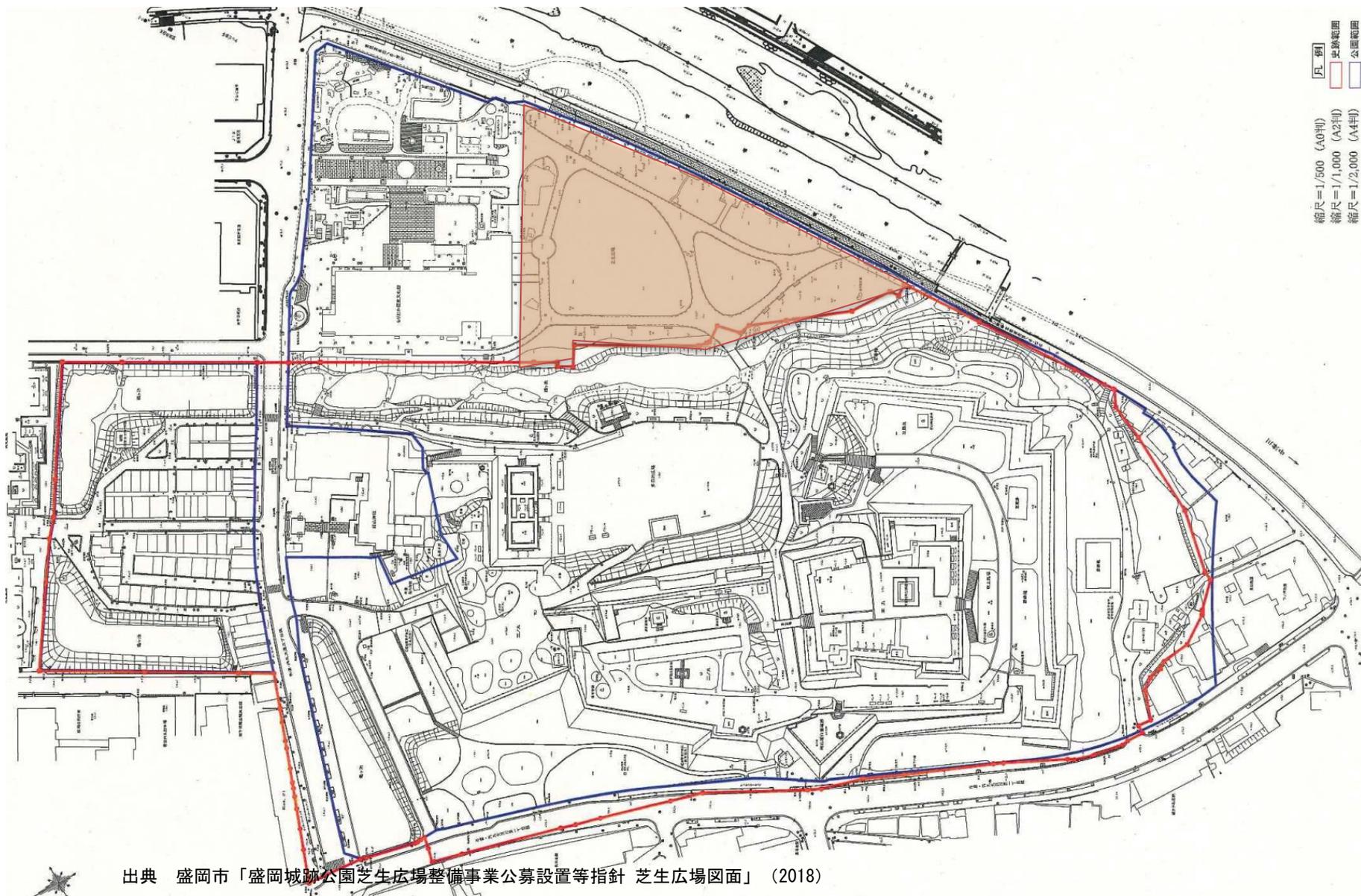
岩手県営野球場(昭和45年) 盛岡市営野球場(昭和13年)

双方を1つに建替え



出典 岩手県・盛岡市「盛岡南公園野球場(仮称)整備事業整備基本計画」(平成31年)

【事例6】盛岡城跡公園芝生広場整備(Park-PFI)



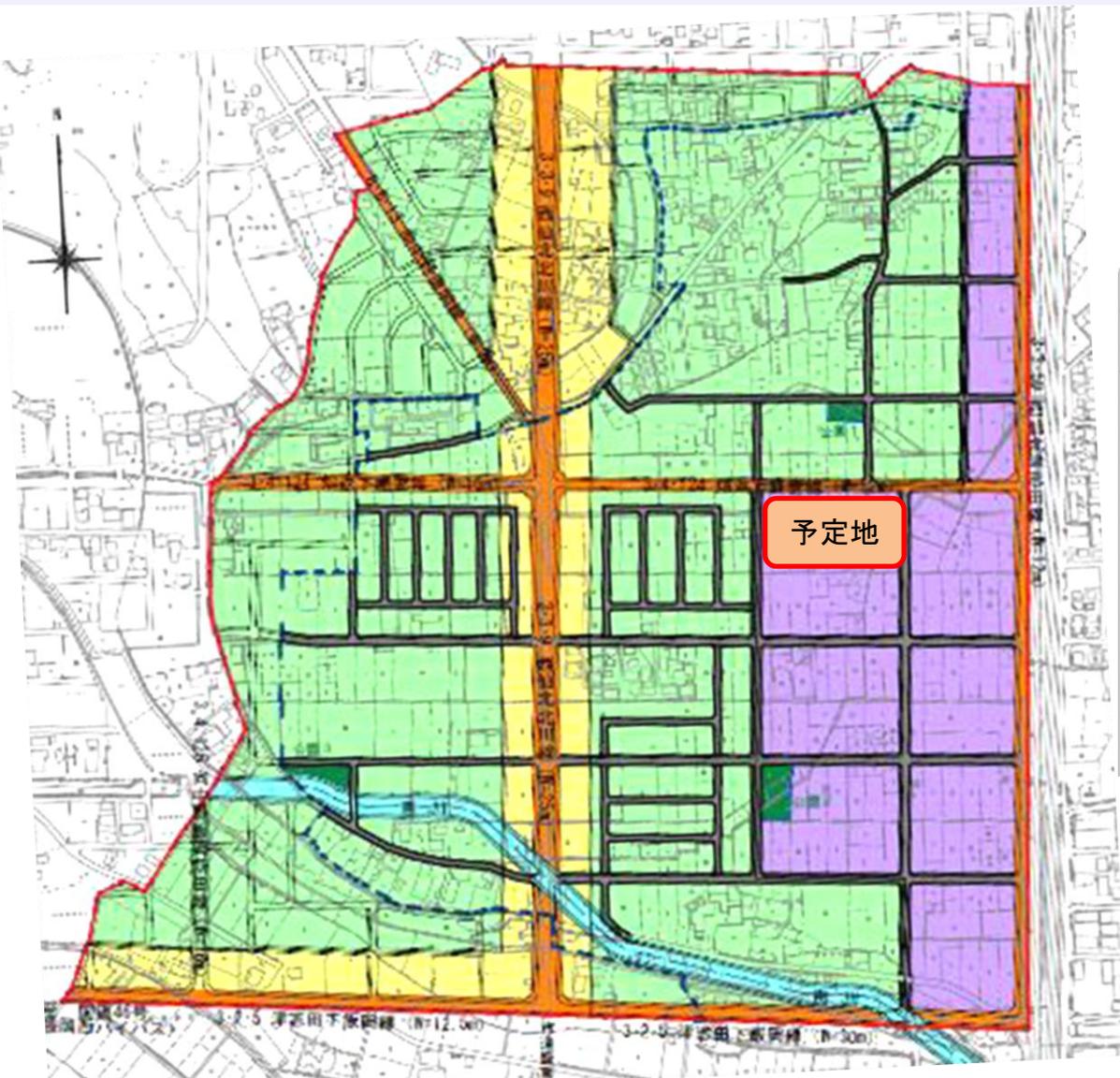
【事例7】中央公園整備(Park-PFI)



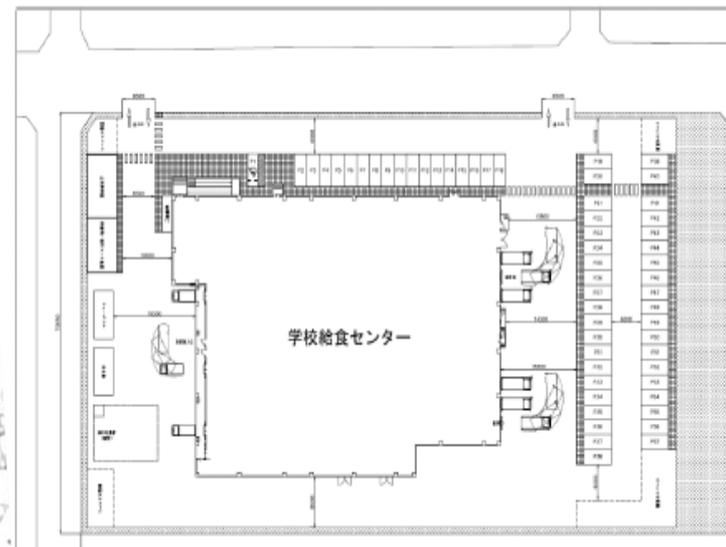
<p>フェーズ1</p> <p>【特定公園施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大芝生ひろば <p>【公募対象公園施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリースクール ・シェアオフィス ・飲食店 ・てつびんの学校（教養施設） ・手紡ぎ手織りの学校（教養施設） <p>【占用物件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園 	<p>フェーズ2以降</p> <p>【特定公園施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケボーパーク ・自然サイクルコース ・キャンプひろば ・バーベキューひろば ・屋外コンサートひろば ・大芝生ひろば <p>【公募対象公園施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィットネスクラブ ・飲食店
--	---

出典 中央公園整備事業MDS/みんなの未来計画/タヤマスタジオ グループ事業提案書イメージスケッチ (2019)

【事例8】学校給食センター整備



モデルプラン (施設配置図)



出典 (仮称) 盛岡学校給食センター整備運営事業におけるPFI導入可能性調査業務報告書 (概要版) (2017)

出典 (仮称) 盛岡学校給食センター整備運営事業におけるPFI導入可能性調査業務報告書 (概要版) (2017)

【事例9】道の駅整備



【事例10】学校空調設備整備

○サウンディング型市場調査 (発注方法の検討)

	項目	日時
1	サウンディング型市場調査 現地見学会(7事業者参加)	平成30年12月3日
2	臨時特例交付金の内定	平成30年12月4日
3	サウンディング型市場調査 個別対話(9事業者参加)	平成30年12月17日から 平成30年12月20日まで
4	サウンディング型市場調査 結果公表	平成30年12月28日



○公募型プロポーザル (設計施工一括発注方式)

	項目	日時
1	公募型プロポーザル開始 参加表明書受付	平成31年1月18日から 平成31年1月30日まで
2	現地見学会受付	平成31年1月18日から 平成31年1月24日まで
3	質問受付	平成31年1月18日から 平成31年1月28日まで
4	現地見学会実施	平成31年1月28日
5	質問回答日	平成31年2月5日
6	参加資格審査結果通知	平成31年2月5日
7	技術提案書受付	平成31年2月7日から 平成31年2月13日まで
8	技術提案書・プレゼンテー ション審査、特定者決定	平成31年2月20日から 平成31年2月21日まで
9	審査結果及び特定者等の 公表	平成31年2月27日
10	協定書締結	平成31年2月28日)

都市ガスの学校とその他の学校
に区分して発注することを決定

【対象】 小学校42校 普通教室868室
中学校22校 保健室等216室
幼稚園3校
計 67校

【事例11】トイレ環境整備（洋式化等の推進）

- ・公共施設等適正管理推進事業債(ユニバーサルデザイン化)活用の検討
- ・もりおかPPPプラットフォームでトイレ洋式化を議論
- ・トイレ環境整備計画策定(H30年度), 同年度発注

5 市が考えるトイレ洋式化の方法

国の財政支援措置を活用し、短期間に多くの改修を実施したい。

※サンライフ盛岡の大規模改修は、プラットフォームの議論後、性能発注による設計施工者一括選定方式でプロポーザルを実施。(事業費 約3億700万円)

今回は、大規模改修と修繕に分け、効果的な事業実施方法を検討する。

【考え方】 財政支援措置期間に最大限事業を実施するとした場合に、以下の対象について、工事を実施できないか。

◆大規模改修検討対象施設

○学校トイレ 約50校, 約100系統 1校舎あたり2系統(東西1系統ずつ等)

※系統は、例えば3階建校舎であれば、配管が縦に通っているトイレ3階分を1系統とカウント。

◆修繕検討対象施設

○市有施設全般

市民活動・子育て・高齢者施設等 約230施設, 約1000器

○公園トイレ 約70施設, 約130器,



写真 平成30年度第1回もりおかPPPプラットフォーム

【事例12】中央公民館と老人福祉センターとの複合化

両施設は建設から約40年が経過。老朽化が進み、使い続けるには、外壁や配管など多くの改修が必要でした。改修にあたり、施設の利用者数や、部屋の稼働率、改修・維持管理費用などを総合的に

判断した結果、同公民館内に同センターの機能を移し、一つの建物にまとめました。

改修には、利用者からの意見を反映させ、工事を進めました。



休館中は、利用可能な施設の情報をお知らせし、各サークルなどの活動に不便がないようにしたよ

中央公民館



館内の照明をLEDにし、明るくしました。誰もが使いやすいよう、トイレを洋式に。



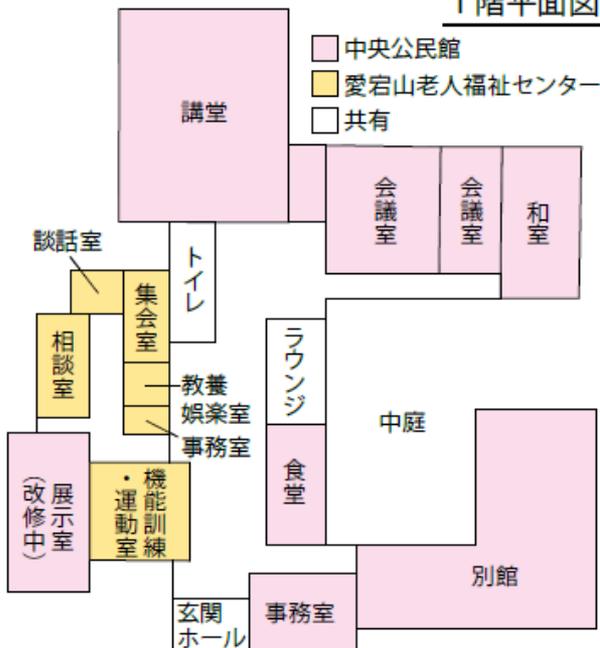
別館 和室

照明が明るくなったことで手先がよく見え、作業がしやすくなりました。畳が新しくなり、気持ちがいいですね。



和裁サークル糸ぐるまの皆さん(左から)
後列：伊勢礼子さん・渡邊康子さん・十河節子さん
前列：中村れいこさん・日沢恵子さん

1階平面図



入り口や館内の廊下・階段に手すりを設置。段差も解消しました。



愛宕山老人福祉センター

高齢者の利用が多いことから、階段の昇り降りをしなくてよいよう、1階に配置。畳から全室フローリングにし、床面の段差をなくしました。

Before



After



介護予防活動の拠点となる機能訓練・運動室は、運動しやすい広々とした空間に!

機能訓練・運動室

広くて明るくなり、気持ちよく歌っています。冷暖房も付き、夏も冬も快適です。床の段差がなくなったので動きやすく、物の移動も楽になりました。



うたう会 小笠原毅さん

出典 盛岡市「広報もりおか(2021年1月1日号)」(2021年)を基に作成

もう一つの公民連携

平成29年度 岩手大学地域課題解決プログラムによる、「公共施設アセットマネジメントの推進に向けた各種コンテンツによる市民訴求の手法研究」による盛岡市と岩手大学のコラボによる研究成果です。(漫画, ロゴマーク, アセットキャラクター: 石割さくらこ)



① 新しい施設整備の抑制

盛岡アセット
マネジメントとは
多すぎる
公共施設を効率良く
利用する政策の事



こちら
4つの策で
公共施設問題を
解決していきます



② 公共施設同士の連携

おわりに

各種情報は、ホームページで公表しておりますので、詳細については以下を御確認ください。

[盛岡市トップページ](#) > [市政情報](#) > [市の政策・企画](#) > [公共施設保有の最適化と長寿命化](#)

- 公共施設の利用運営状況 ー施設カルテー
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設保有最適化・長寿命化長期計画, 中期計画, 実施計画

[盛岡市トップページ](#) > [市政情報](#) > [盛岡市の自治体経営](#) > [公共部門の民間開放](#) > [PPP/PFIの推進](#) > [PPP/PFIの推進](#)

- 官民連携事業(PPP)の取組方針
- PPP/PFI民間提案等ガイドブック
- PPPロングリスト

[盛岡市トップページ](#) > [市政情報](#) > [市の政策・企画](#) > [もりおかPPPプラットフォーム](#)

- 過去の取組内容ほか

[盛岡市トップページ](#) > [市政情報](#) > [市の計画](#) > [総合的な計画](#) > [盛岡市総合計画](#) > [盛岡市総合計画\(平成27年度から36年度\)](#)

- 総合計画基本構想・実施計画

御清聴ありがとうございました。